TOSHIBA

東芝DVDプレーヤー内蔵液晶テレビ取扱説明書

形名 **SD-P5000**

DOLBY DIGITAL　dts DIGITAL OUT

Li-ion

- このたびは東芝DVDプレーヤー内蔵液晶テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのDVDプレーヤー内蔵液晶テレビを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

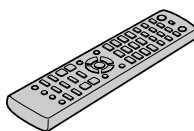
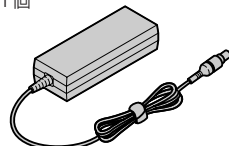
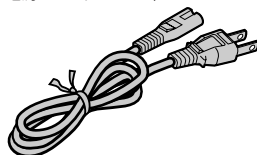
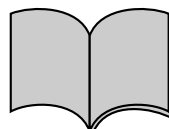
ボタン操作中に画面に「⊘」が表示されることがあります。
「⊘」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。（このとき画面に表示が出ます。）

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン×1個
単三乾電池（R6）×2個

ACアダプター（ADP-60RH AC）*
×1個

電源コード*×1本

取扱説明書×1冊

*• ACアダプターと電源コードは、付属のもの以外は使用しないでください。
• ACアダプターと電源コードは、本製品以外には使用しないでください。

もくじ

はじめに ●お使いになる前に必ずお読みください。

テレビ機能 ●テレビを映してみましょう。

再生(基本編) ●再生してみましょう。

再生(応用編) ●こんな使いかたもできます。

機能設定 ●お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

接続 ●外部機器やオーディオシステムに接続できます。

その他

安全上のご注意

● ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
● 表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

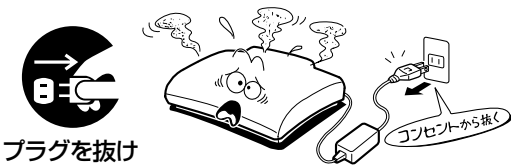
*1： 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
禁止	“⃠”は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	“●”は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	“⚠”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠ 警告

■ **煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **内部に水や異物がはいったら、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ **落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

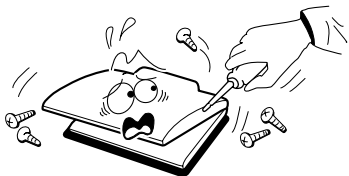
プラグを抜け

■ **ACアダプターのコードが傷んだり、プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

ご使用になるとき

⚠警告

■ **修理・改造・分解はしないこと**
火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ **内部に異物を入れないこと**
ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

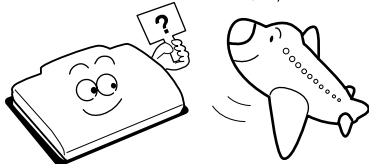
■ **雷が鳴りだしたら、本機や接続コード、アンテナ線などに触れないこと**
感電の原因となります。

接触禁止

■ **水にぬらしたりしないこと**
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

■ **航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと**
航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

指　示

■ **ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見つめたりしないこと**
視力障害の原因となります。

禁　止

■ **歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないこと**
交通事故の原因となります。

禁　止

ご使用になるとき

⚠注意

■ **ふたを閉めるときや画面を閉じるとき、手を入れないこと**
手をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

禁　止

■ **ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと**
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ **回転中のディスクには触れないこと**
ふたを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

■ **電源を入れる前には音量を最小にすること**
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ **画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと**
中毒を起こすおそれがあります。
万一口にはいってしまった場合は、水でゆすぎ、医師の治療を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

■ リモコンに使用している乾電池は、
●指定以外の乾電池は使用しないこと
●極性[(＋)と(－)]を間違えて挿入しないこと
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
●乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと
●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

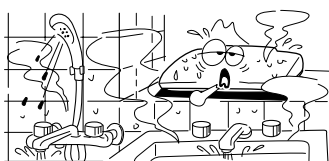
これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁　止

設置されるとき

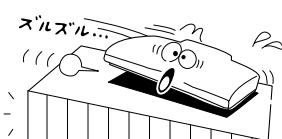
⚠警告

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと
火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

■ 上にものを置かないこと
● 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
● 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと
本機が落ちて、けがの原因となります。

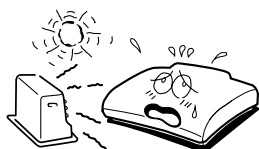
禁　止

■ ひざの上などで使用しないこと
本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。
低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますのでご注意ください。

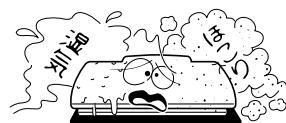
禁　止

設置されるとき

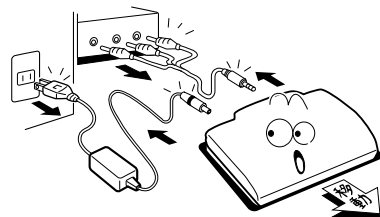
⚠注意

■ 温度の高い場所に置かないこと
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

■ 風通しの悪い場所に置かないこと
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- 逆さまにしないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。

禁　止

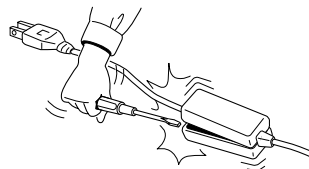
■ 移動させる場合は、ACアダプター・外部との接続コードをはずすこと
ACアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

ACアダプターについて

⚠警告

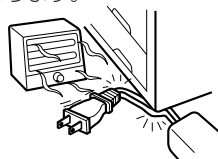
■ ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

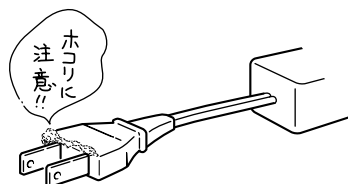
指　示

■ ACアダプターを分解・改造・修理しないこと
火災・感電の原因となります。

分解禁止

■ ACアダプターの電源コードは
- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。

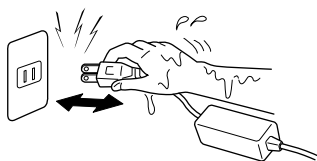
禁　止

■ ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

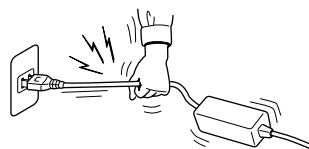
指　示

■ **通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと**
火災、故障の原因となることがあります。

禁　止

⚠注意

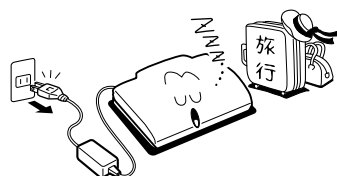
■ **ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないこと**
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

■ **ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと**
コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止

■ **ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用すること**
指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。付属の電源コードは国内向けです。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードをご使用ください。

指　示

■ **旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと**
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

■ **付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと**
本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

禁　止

■ **ACアダプターの電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと**
確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

指　示

使用上のお願い

取扱いに関すること

■ 液晶画面に衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
■ ピックアップレンズ(ふたの中にあるレンズ)の清掃はしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。
■ ピックアップレンズに触れないでください。機能に支障をきたす場合があります。
■ 移動させるときは
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
■ 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

■ 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
■ 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。
■ 直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、本体の破損、その他の部品の劣化や破損の原因となることがあります。

お手入れに関すること

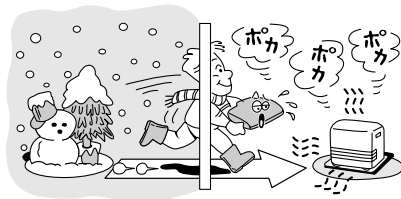
■ 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを"結露(露付き)"といいます。

■ "結露"はこんなときおきます。

● 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
● 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
● 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
● 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

■ 結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、ACアダプターを接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

レーザー製品の取り扱いについて

● 本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
● 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
● レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだに鉛が、LCD表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

免責事項について

● 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
● 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的（ふずいてき）な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
● 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
● 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

ディスクの取扱いと用語

ディスクの取扱いかたなどについて説明します。

再生できるディスク

本機では、以下のディスクを再生することができます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVD ビデオ ディスク	DVD VIDEO DVD VIDEO	映像 (動画) + 音声	12cm
			8cm
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	映像 (動画) + 音声	12cm
			8cm
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm
			8cm (CDシングル)

以下のディスクも再生できます。
- DVDビデオフォーマットのDVD−Rディスク
- CD−DA(音楽用CD)又は、VIDEO CD(ビデオCD)フォーマットのCD−R／CD−RWディスク

ディスクによっては再生できないものもあります。

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 上記のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態によって再生できない場合があります。
- 上記のマークが表示されていても、DVD−RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。(PBCとはPlayback(プレイバック) Control(コントロール)の略です。)

ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD(バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC付きビデオCD(バージョン2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(メニュー再生)。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

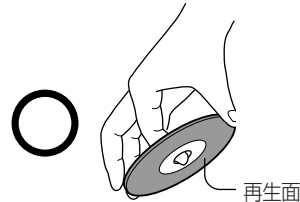
タイトル：　DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。

トラック：　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

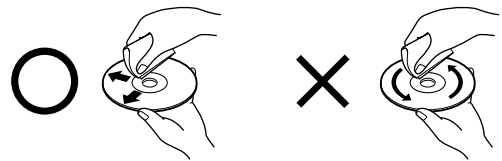
それぞれのタイトルやグループ、チャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「グループ番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、これらの番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。

● ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。メガネふきのような柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

ディスクの取扱いと用語（つづき）

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

くわしくは、なまえの〈　〉内のページをご覧ください。

全体

液晶画面

リモコン受光部 18

ディスクカバー

電源（待機）表示 24

スピーカー

ディスクカバーオープンボタン 32

スキップボタン 40

クローズ

オープン

入力切換

チャンネル

再生/一時停止

音量

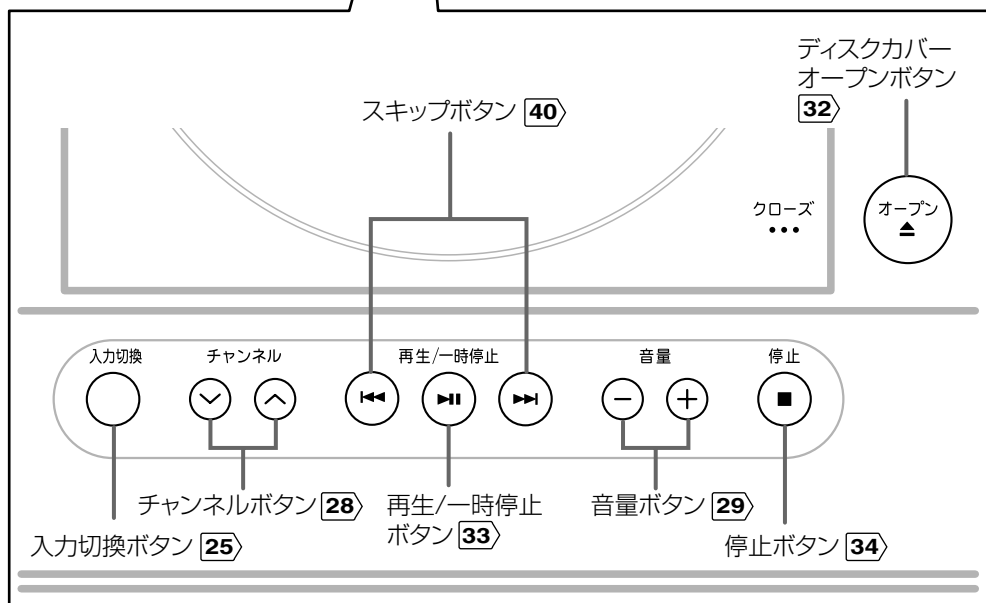
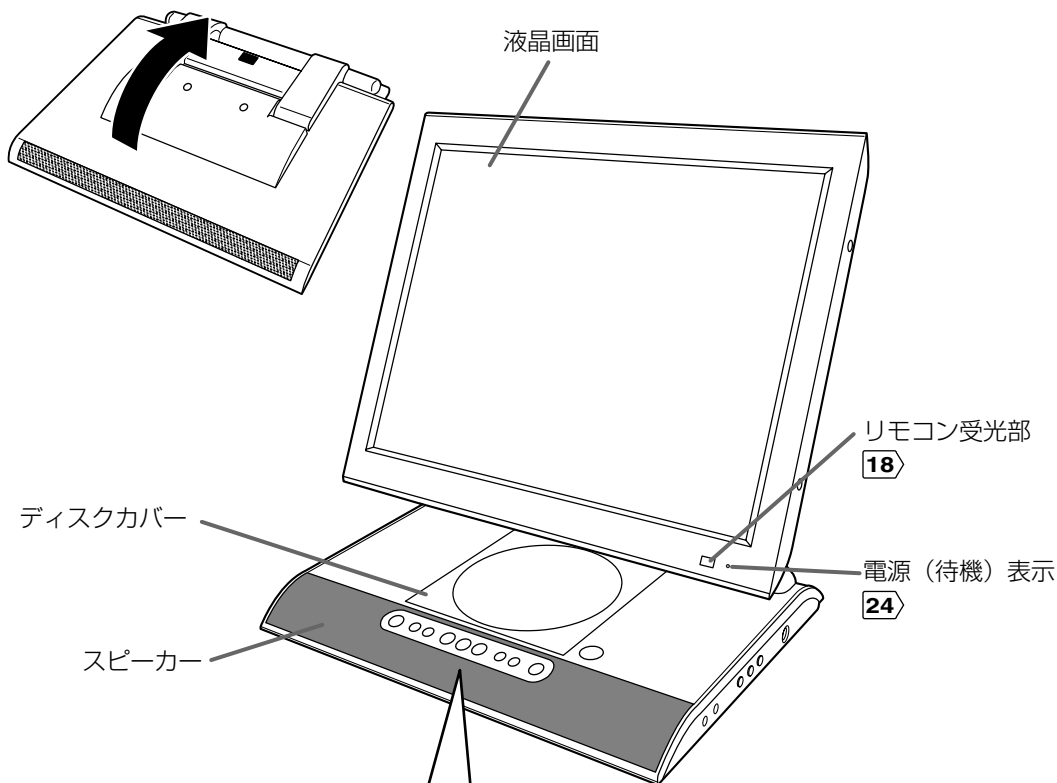
停止

チャンネルボタン 28

再生/一時停止ボタン 33

音量ボタン 29

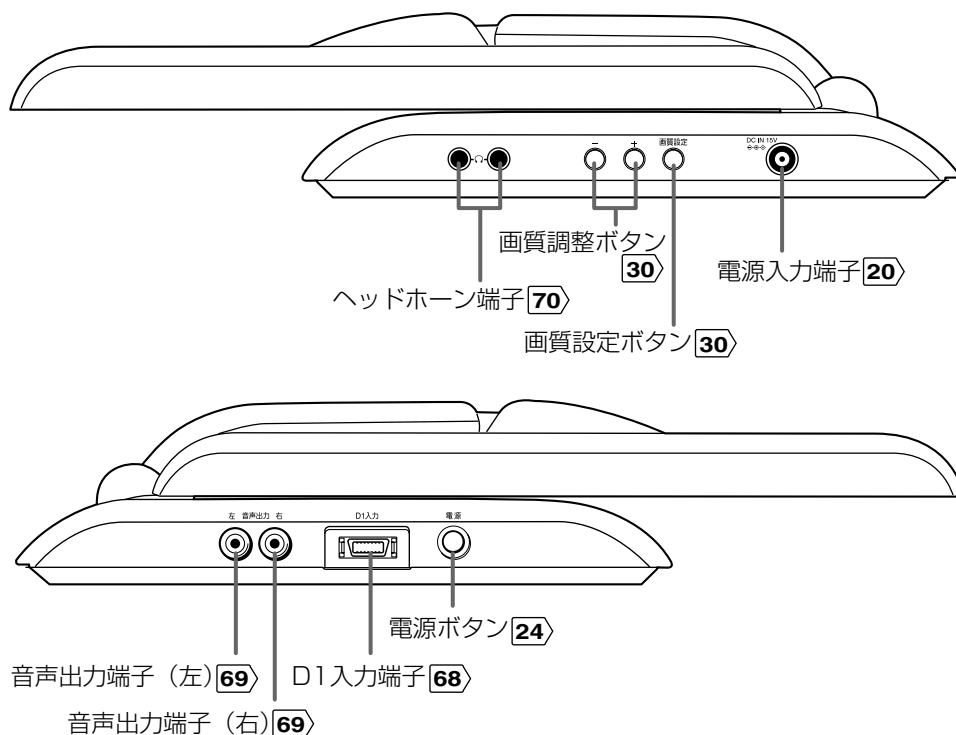
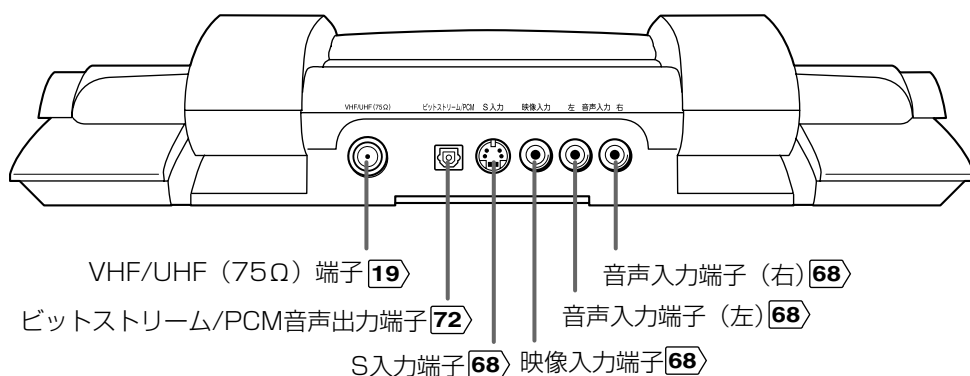
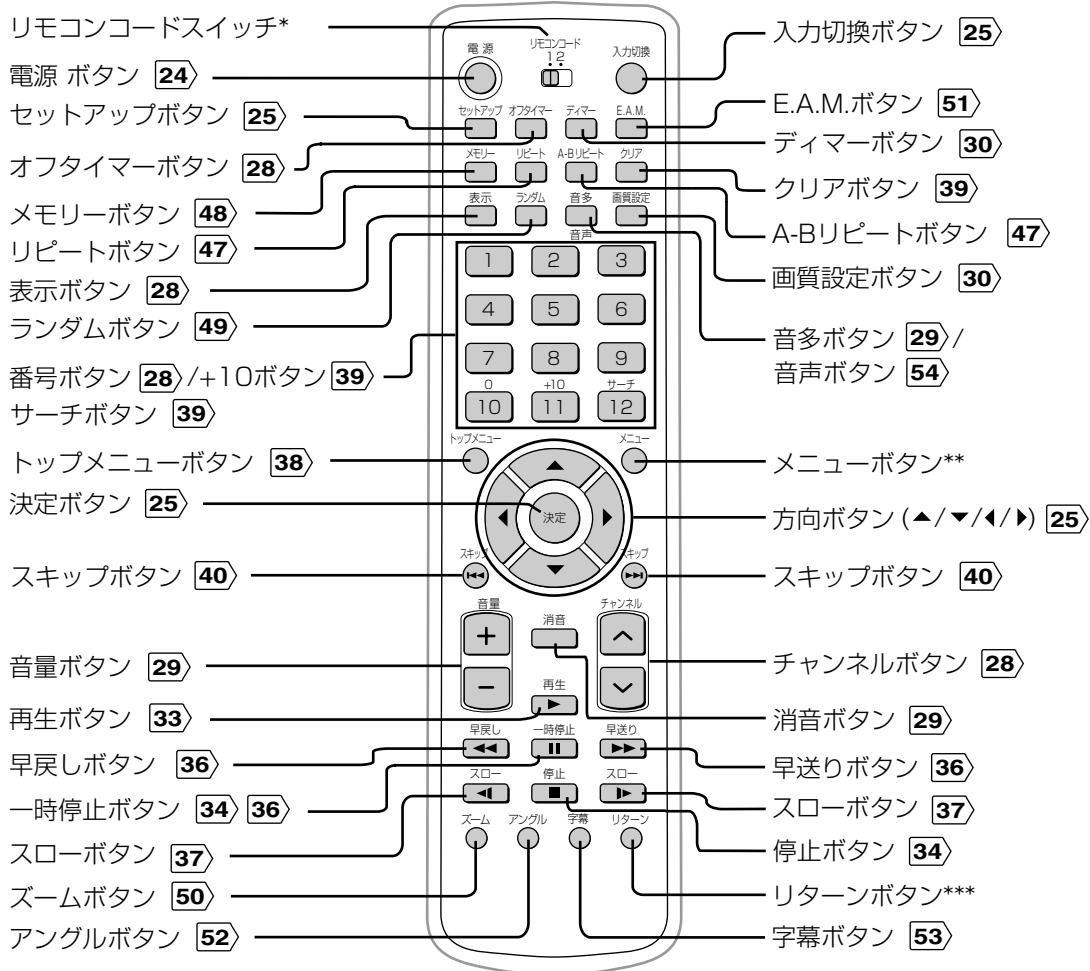
入力切換ボタン 25

停止ボタン 34

各部のなまえ（つづき）

本文の操作説明はリモコンを使っています。くわしくは、なまえの〈　〉内のページをご覧ください。

側面

画質調整ボタン 30
電源入力端子 20
ヘッドホーン端子 70
画質設定ボタン 30

電源ボタン 24
音声出力端子（左）69
D1入力端子 68
音声出力端子（右）69

背面

リモコン

*リモコンコードスイッチ
このリモコンを使用して、本機以外のテレビが動作してしまうときには、リモコンコードスイッチを「2」に切り換えてください。

**メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューで頭出しする」 38と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

***リターンボタン
ディスクで指定された画面に戻ります。
市販のソフトディスク側の説明書もご覧ください。

各部のなまえ（つづき）

⚠注意

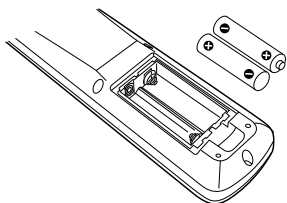
■リモコンに使用している乾電池は

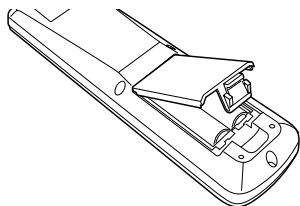
禁止

- ●指定以外の電池は使用しないこと
- ●極性表示[(＋)と(－)]を間違えて挿入しないこと
- ●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
- ●乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと
- ●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

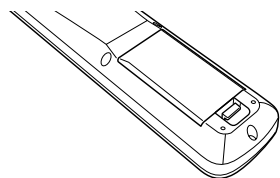
これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

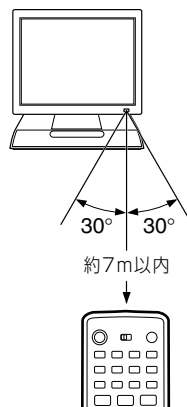
乾電池の入れかた

1 フタをはずす

2 乾電池を入れる

指定電池：
単三形マンガン電池(R6)
単三形アルカリ乾電池(LR6)

乾電池の＋、－を確かめて入れてください。

3 フタを閉める

■乾電池について
リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、すべて新しい乾電池と交換してください。

リモコンで操作するには

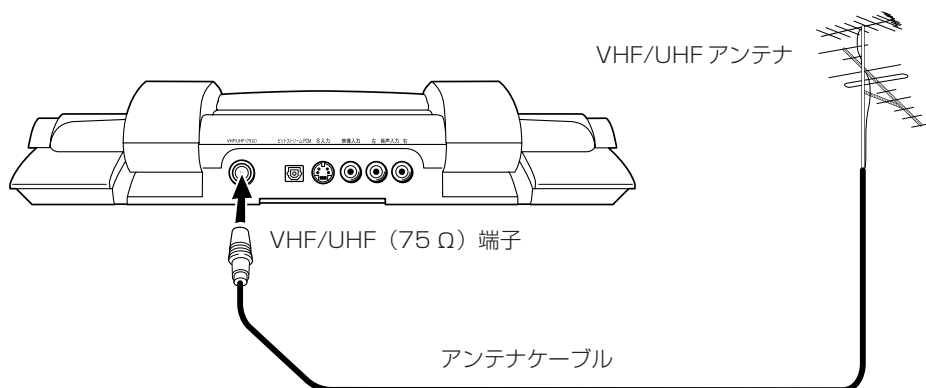
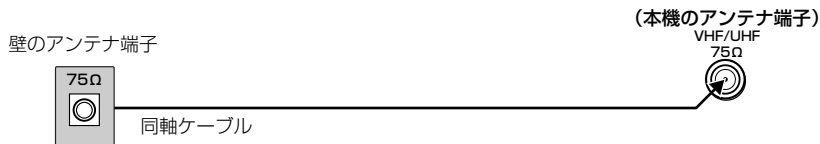
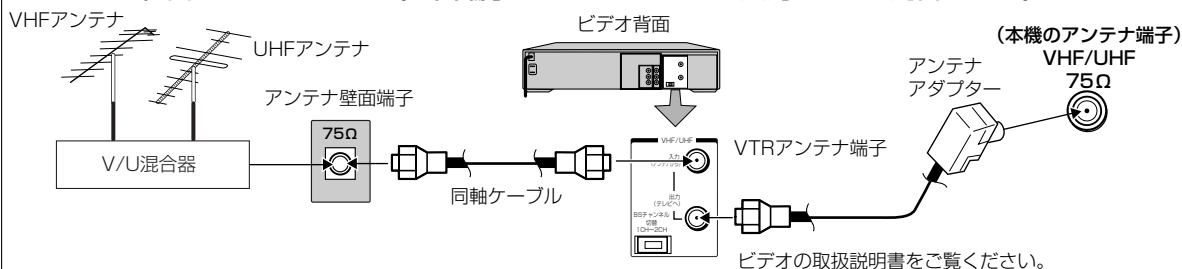
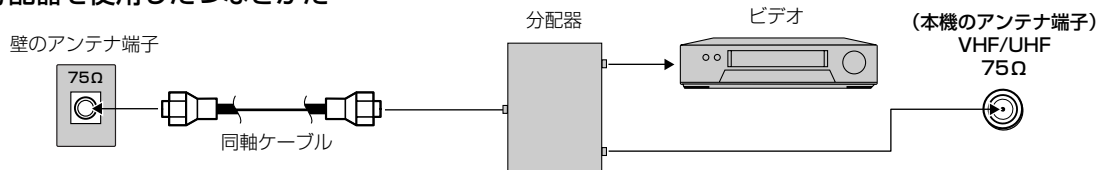
本体のリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押す

距離：リモコン受光部正面から約7m以内です。
角度：リモコン受光部から左右約30度以内です。

- リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

■リモコンについて

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。

アンテナの接続

アンテナを接続します。（アンテナ、ケーブル、アンテナアダプター、分配器などは付属していません）

VHFとUHFのアンテナ線がそれぞれ別になっているとき

- V/U混合器、形名HMX-77（別売）が必要です。
- 詳しくは販売店にご相談ください。

お知らせ

- 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切ってください。
- VHF/UHFアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
- 平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。
- 既存のアンテナで分波器が接続されているときは、分波器をはずしてつないでください。
- アンテナ線をデジタル機器に近づけないでください。
- CATVについては、CATV関係各社にお問い合わせください。

ACアダプターの接続

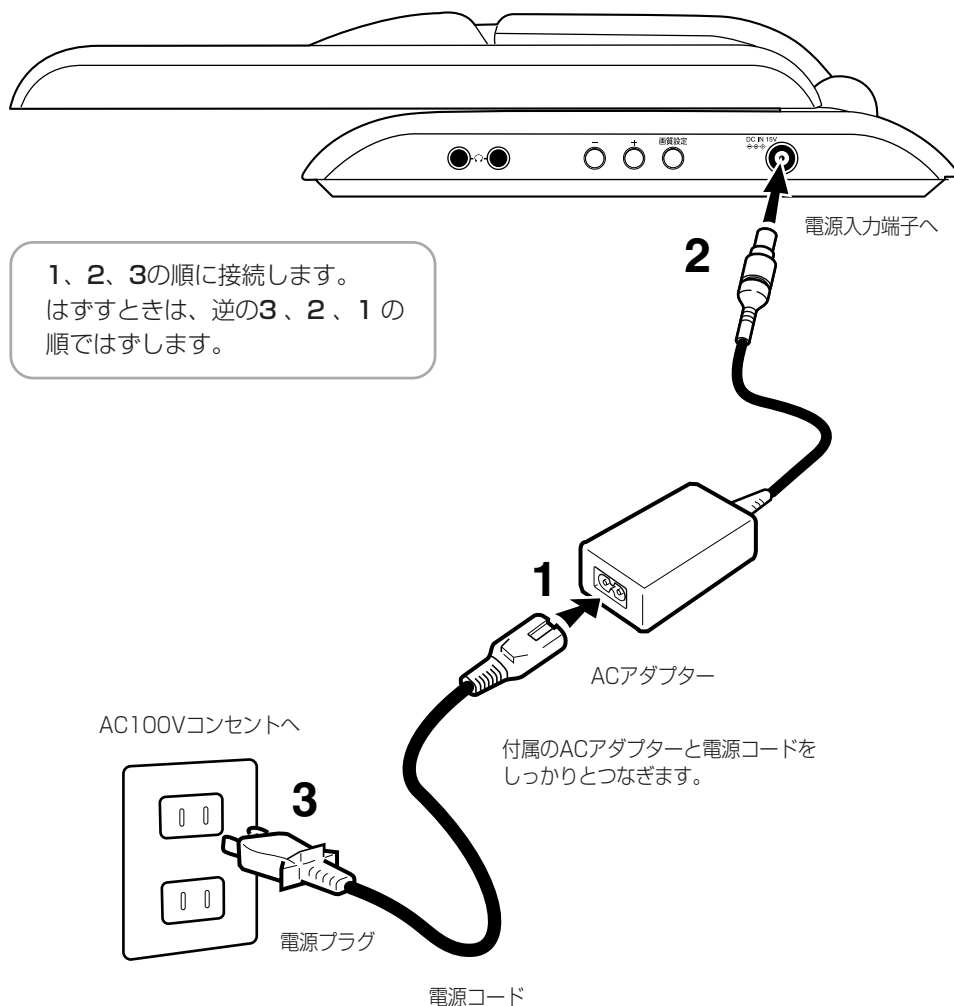
ACアダプターを接続します。

⚠警告

- ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Ｖのコンセントに接続すること。
  交流100Ｖ以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となることがあります。
- 付属のACアダプターを使用すること。指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。

通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行ってください。

1、2、3の順に接続します。
はずすときは、逆の3 、2 、1 の順ではずします。

電源入力端子へ

2

1

ACアダプター

AC100Vコンセントへ

付属のACアダプターと電源コードをしっかりとつなぎます。

3

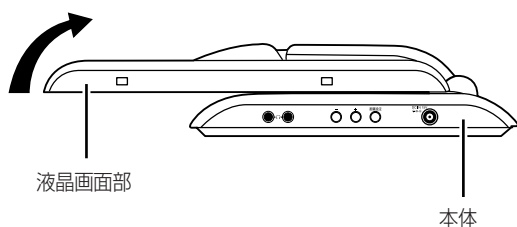
電源プラグ

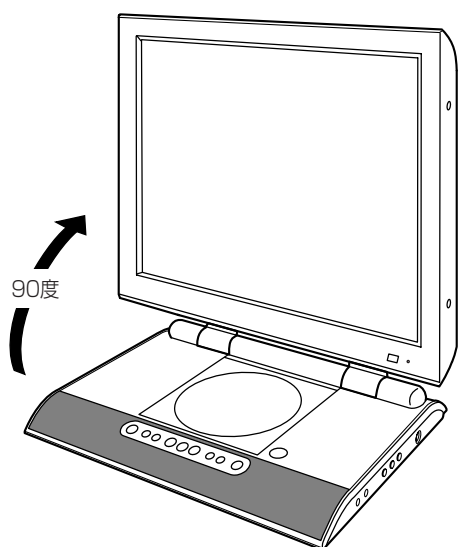
電源コード

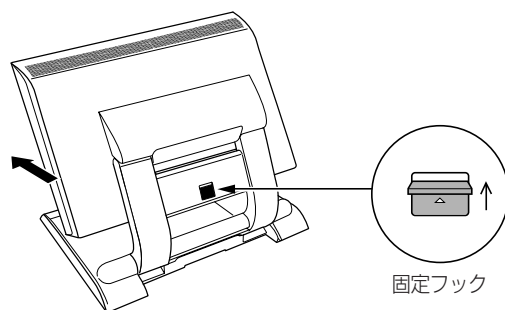
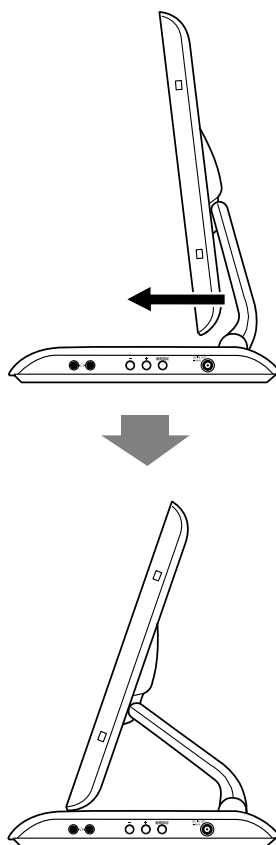
本機の使い方

本機はいくつかの使い方ができます。

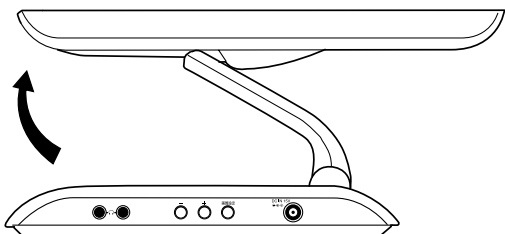
液晶画面部を開く

1 本体をしっかりと押さえて、液晶画面部をしずかに引きあげる

2 液晶画面部をひらく

90度以上ひらきますと、本機が転倒する危険性がありますので、注意してください。

液晶画面部の向きを調整する

1 背面にある固定フックをあげながら、液晶画面部を矢印の方向に押す

2 液晶画面部を前に押しだす

本機の使い方（つづき）

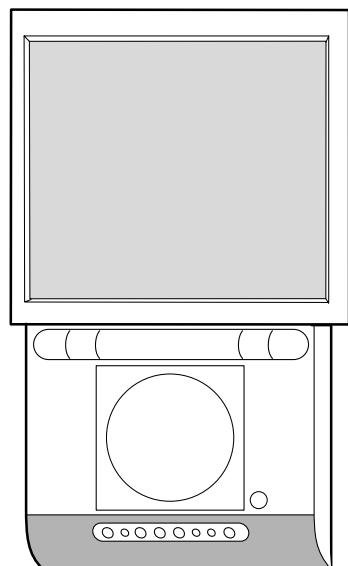
ディスクの出し入れ

液晶画面部を図のように上に向ける

ディスクカバーをあける

本体のオープンボタンを押すと、ディスクカバーが開きます。

- 液晶画面部を上へ向けていない状態でディスクカバーをひらくと、液晶画面部にあたり、破損の原因になります。

壁にかけてお使いになるには

液晶画面部を170度開いた状態でもお使いいただけます。

お客様自身での設置はしないでください。設置については、お近くの販売店にご相談ください。

〈別売〉 壁掛け金具　LCD-WP3
（別売の壁掛け金具の型名は変更になる場合があります。）

テレビ機能

テレビを映してみましょう。

- テレビを見るための設定
- チャンネルの設定
- チャンネルの選択
- 音声の設定
- 画質の切換え

テレビを見るための設定

テレビを見るための手順

アンテナの接続 19〉

↓

ACアダプターの接続 20〉

↓

テレビモードを選択する 25〉

↓

言語を設定する 25〉

↓

チャンネルを設定する 26〉

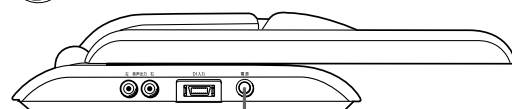
↓

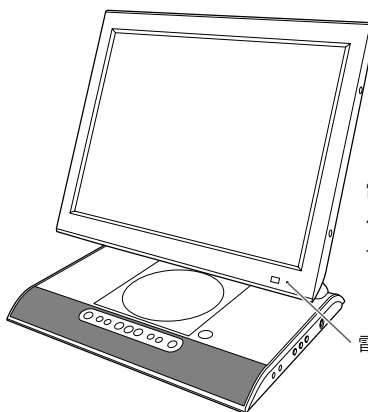
テレビを見る

電源の入れかた

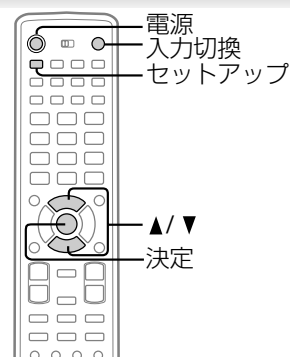
電源を入れる

電源

本体の**電源**ボタンを押します。

電源ボタン

電源を切りたいときは、もう一度本体の**電源**ボタンを押します。

待機状態のときに電源を入れる

リモコンの**電源**ボタンを押します。
電源がはいり、電源表示が、赤色(待機状態)から緑色に変わります。

もう一度**電源**ボタンを押すと、電源が切れて、待機状態(電源表示が赤色に点灯)になります。

テレビモードを選択する

テレビを見るときには、テレビモードに切り換えます。

本機は、テレビモード、DVDモード、外部入力モード(D1入力、S入力、映像入力)に切り換えることができます。

入力切換

入力切換ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

TVモード → DVDモード → D1入力 → S入力 → 映像入力

テレビモードに切り換えると、受信中のチャンネルと音声が表示されます。

例

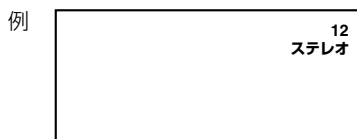
12
ステレオ

■ **外部入力モード(D1入力、S入力、映像入力)を表示させなくするには**

1) 外部入力モードを表示しているときに、**セットアップ**ボタンを押す

2) ▲ / ▼ボタンで表示が不要な外部入力モードを選択し、**決定**ボタンを押す

お知らせ

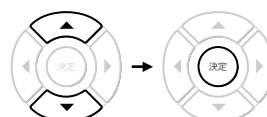
- 外部入力モードすべてを非表示にはできません。

表示言語を設定する

1 セットアップボタンを押す

セットアップ

テレビ設定画面が表示されます。

TV 設定
▶言語： 日本語
ステレオ/モノラル： モノラル
自動チャンネル設定
手動チャンネル設定
チャンネルスキップ設定

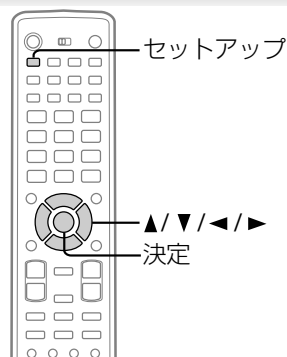
2 ▲ / ▼ ボタンで「言語」を選択し、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すたびに言語が切り換わります。

3 セットアップボタンを押す

セットアップ

TV設定画面が消えます。

チャンネルの設定

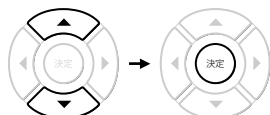
受信できるチャンネルを自動的にサーチして本機にメモリーします。
受信チャンネルの変更や調整などは、「手動でチャンネルを設定する」27で行なってください。

自動でチャンネルを設定する

1 セットアップボタンを押す

セットアップ

設定メニューが表示されます。

TV 設定
言語：　日本語
ステレオ/モノラル：　モノラル
▶自動チャンネル設定
手動チャンネル設定
チャンネルスキップ設定

2 ▲ / ▼ ボタンで「自動チャンネル設定」を選択し、決定ボタンを押す

3 ▲ / ▼ ボタンで「スタート」を選択し、決定ボタンを押す

自動チャンネル設定
ポジション：　1
▶スタート
設定終了
設定中
+- - - - - - - - - - - - - - - - CATV

チャンネル設定が始まります。

- 自動チャンネル設定を中断したいときは、◄ボタンを押してください。
中断しても、チャンネル設定前には戻れません。
- 前の画面に戻りたいときは、「設定終了」を選択し、**決定**ボタンを押します。

4 セットアップボタンを押す

セットアップ

設定画面が消え、設定が終了します。

お知らせ

- 受信するチャンネルの電波の状態(特に弱い電波)によっては、チャンネル設定できない場合もあります。

■ 不要なチャンネルをとばす

チャンネル ∧/∨ ボタンを使って選局するときに、不要なチャンネルをとばすことができます。

1) **セットアップ**ボタンを押し、設定画面を表示する

2) ▲ / ▼ボタンで「チャンネルスキップ設定」を選択し、**決定**ボタンを押す

設定画面が表示されます

例

チャンネルスキップ設定
▶ポジション：　05：42
スキップ：　オン
設定終了

3) ▲ / ▼ボタンで「ポジション」を選択し、◄ / ►ボタンで不要なチャンネルのポジションを選ぶ

ポジションを選択したときに表示される左側の数字は本機の選局ポジション、右側の数字は放送局のチャンネル番号です。

4) ▲ / ▼ボタンで「スキップ」を選択し、**決定**ボタンで「オン」と「オフ」を切り換える

オン：指定した不要なチャンネルをとばします。

オフ：チャンネルをとばしません。

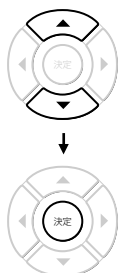
手動でチャンネルを設定する

1 セットアップボタンを押す

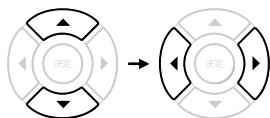
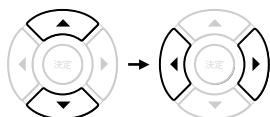
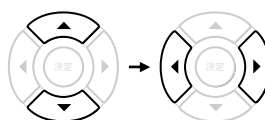
セットアップ

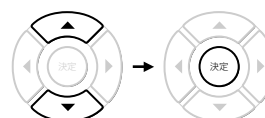
設定画面が表示されます。

TV 設定
言語： 日本語
ステレオ/モノラル： モノラル
自動チャンネル設定
▶手動チャンネル設定
チャンネルスキップ設定

2 ▲ / ▼ ボタンで「手動チャンネル設定」を選択し、決定ボタンを押す

手動チャンネル設定画面が表示されます。
例

手動チャンネル設定
▶ポジション： 05
チャンネル： 42
調整：［◀▶］
決定： OK
設定終了

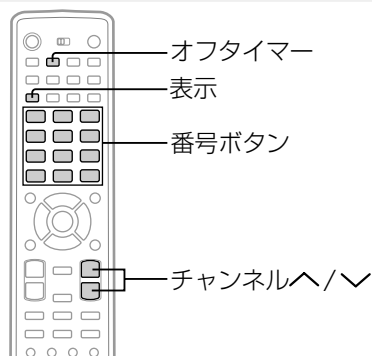
3 ▲ / ▼ ボタンで「ポジション」を選択し、◀ / ▶ ボタンで変更したいポジションを選ぶ

4 ▲ / ▼ ボタンで「チャンネル」を選択し、設定したポジションでチャンネル設定したいチャンネルを◀ / ▶ ボタンで選局する

5 必要があれば、▲ / ▼ ボタンで「調整」を選択し、◀ / ▶ で受信状態を微調整する

- 微調整の必要がないときは、この手順は不要です。
- 電波の状態によっては、微調整をしてもきれいに映らない場合があります。

6 ▲ / ▼ ボタンで「決定」を選択し、決定ボタンを押す

7 セットアップボタンを押す

セットアップ

設定画面が消え、設定が終了します。

チャンネルの選択

テレビを見るときに、チャンネルを選びます。

チャンネルを選択する

■ チャンネルを選局するには

番号ボタンを押す

0
10

例　ポジション10に設定されたチャンネル

• ポジション12より上のチャンネルは、チャンネル(∧/∨)ボタンで選びます。

■ 次または前のチャンネルを選局するには

チャンネル(∧/∨)ボタンを押す

チャンネル

• チャンネル(∧/∨)ボタンでチャンネルを選局するときに不要なチャンネルをとばすこともできます。26

■ チャンネルの状態を確認するには

表示ボタンを押す

表示

現在、受信しているポジション番号と音声の状態を表示します。

例：

• もう一度**表示**ボタンを押すと表示が消えます。

■ オフタイマーを設定するには

オフタイマーを設定すると、指定した時間に自動的に電源を切ることができます。

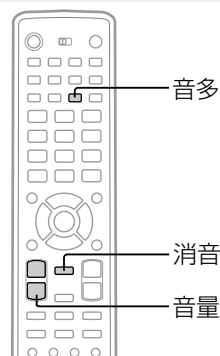
オフタイマー

オフタイマーボタンを数回押して、時間を設定します。

30分ごとに時間が切り換わります。

オフ→ 30分 → 60分 → 90分 → 120分

音声の設定

出力する音声の種類などを設定します。

音声を設定する

■ スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する

音量ボタンで調節する

音量

■ 音声を消すには

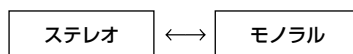
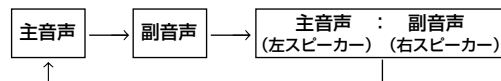
消音ボタンを押す

- 音声を消しているあいだは、右下に「消音」と表示されます。
- もういちど**消音**ボタンを押すと、音声が出ます。

■ 音声を切り換える

ステレオ放送や、二重音声のときに切り換えられます。

音多ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

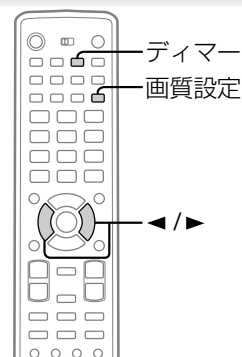
ステレオ放送のとき

二重音声のとき

■ 優先して出力する音声を設定する

ステレオ放送を受信したときに、ステレオとモノラルのどちらの音声を優先して出力するかを設定します。

1)**セットアップ**ボタンを押して、テレビ設定画面を表示する

2)▲ / ▼ボタンで「ステレオ／モノラル」を選択し、**決定**ボタンで設定する

決定ボタンをくり返し押すと、ステレオとモノラルが切り換わります。

画質の切換え

画質を切り換える

1 画質設定ボタンを押す

押すたびに、ひとつ下の項目へ移動します。

画質設定

画質設定

設定画面が表示されます

画質設定	
▶明るさ	15
色あい	15
色の濃さ	15
コントラスト	15
画質	ノーマル
	15

2 ◄ / ► ボタンか+/−ボタン押して、設定を変える

− +

明るさ　　　：0(暗)から30(明)
色あい　　　：0(赤)から30(緑)
色の濃さ　　：0(薄)から30(濃)
コントラスト：0(低)から30(高)
画質　　　　：ソフトまたはノーマル

■ 画面の明るさを設定する

画面の明るさを4段階に切り換えられます。

ディマー

ディマーボタンを押して、画面の明るさを選ぶ

再生(基本編)

再生してみましょう。

- ●ディスクの再生
- ●いろいろな速さの再生
- ●頭出しサーチ
- ●MP3/WMAファイルの再生
- ●JPEGファイルの再生

本書について

- イラストに線で示した番号は、各操作手順と対応しています。
- 「ディスクの再生」以外では、操作説明のところにリモコンのボタンのイラストしかありませんが、リモコンと同じ名称の本体ボタンも同じように使えます。

ディスクの再生

ディスクを再生します。

□ 内の数字は本取扱説明書のページを示しています。
説明中に □ があるときは、そのページをご覧ください。

⚠注意

- 回転中のディスクに触れないこと。けがや故障の原因となります。
- ふたを閉めるとき、手を入れないこと。手をはさみ、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。

DVD-V VCD CD ディスクを再生する

■ DVDモードに切り換える

DVDビデオディスクやビデオCD、オーディオCDを再生したいときには、DVDモードに切り換えます。

入力切換

入力切換を押すたびに以下のように切り換わります。

TVモード → DVDモード → D1入力 → S入力 → 映像入力 ↑（TVモードに戻る）

DVDモードに切り換わると、以下のように表示されます。

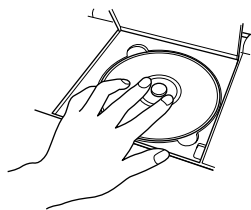
DVDモードの表示

- **再生**ボタンを押しても、DVDモードに切り換わります。

1 ふたをあける

本体のディスクカバーオープンボタンを押します。
ディスクカバーがあきます。

ディスクカバーは決まった範囲よりあけることはできません。それ以上は無理な力を加えてあけないでください。破損の原因となります。

2 ディスクをはめる

再生面を下にして、カチッと音がするまでディスクの中央付近を指で確実に押します。

3 ふたを閉める

右手前のクローズの表示付近を押して閉めます。

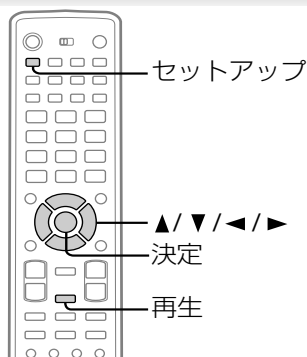
4 再生を始める

再生/一時停止

再生ボタンを押します。

再生

トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCD 12 を再生したときは、メニュー画面が表示されます。「トップメニューで頭出しする」をご覧ください。38

- ディスクメニュー画面は、トップメニューボタンや、メニューボタンを押して表示させる場合があります。（DVDビデオディスクによって異なります。）

■ より見やすくお楽しみいただくために(テレビに接続時)

DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整(シャープネス)を下げると、見やすくなります。

■ DVD-V VCD CD について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

DVD-V:DVDビデオディスク

VCD:ビデオCD　　CD:音楽用CD

お願い

- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れないでください。
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず停止ボタンを押して、再生を終了してください。
- 液晶画面部が手前にあるときは、ディスクカバーオープンボタンを押さないでください。ディスクカバーがあいて液晶画面部にあたり、破損の原因となります。

■画面表示言語の変更のしかた

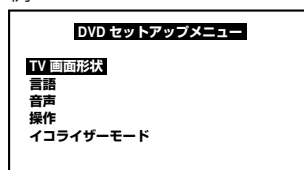
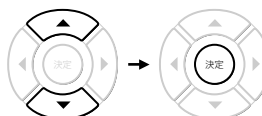
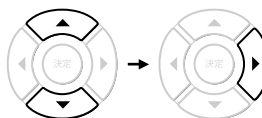
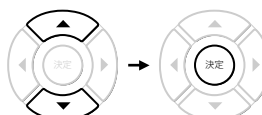
1 **セットアップ**ボタンを押す

セットアップ

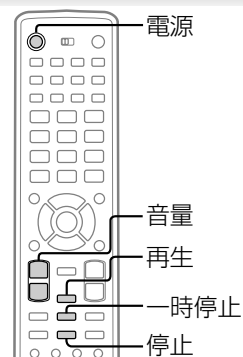
以下のような画面が表示されます。

例

DVD セットアップメニュー

TV 画面形状
言語
音声
操作
イコライザーモード

2 ▲ / ▼ ボタンを押して「言語」を選択し、**決定**ボタンを押す

3 ▲ / ▼ ボタンを押して「画面表示言語」を選択し、► ボタンを押す

4 ▲ / ▼ ボタンを使い、言語を選択し、**決定**ボタンを押す

5 **セットアップ**ボタンを押す

設定画面が消えます。

ディスクの再生（つづき）

ディスクを再生する（つづき）

■ スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する

音量ボタンで調節する

音量

＋：音量を上げる
－：音量を下げる

■ 再生を一時停止する（静止画再生）

再生中に**一時停止**ボタンを押す

再生/一時停止

一時停止

普通の再生に戻すには、**再生**ボタンを押します。

- 静止画再生中は、音声は再生されません。

■ 再生を止める

停止ボタンを押す

停止

本機は、再生が停止した箇所を記録します。記録を消去したい場合は、停止ボタンを再度押します。37

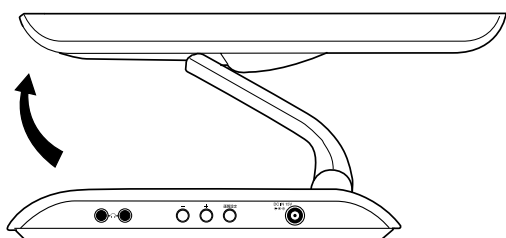
■ 電源を切る

電源ボタンを押す

本体の電源ボタンで電源を切ります。

リモコンの電源ボタンで待機状態になります。

■ **ディスクを取り出す**

液晶画面部を上へ向けてから、本体のオープンボタンを押し、ディスクカバーをあける

ディスクのふちを静かに持ち上げてディスクホルダーからはずします。
ディスクを取り出したあとは、ディスクカバーを閉めます。

⚠注意

長時間の再生のあとで、ディスクホルダーの中央部に触れないこと。
ホルダーの中央部が熱くなっていることがあります。
ディスクの取り出しには十分注意してください。

禁　止

■ **スクリーンセーバー（焼付き防止機能）について**

テレビなどに接続して使うときに、テレビの画面を保護するための機能です。（焼付き防止を保証するものではありません。）
DVDビデオディスクの静止画面がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます（「スクリーンセーバー」を「オン」に設定しているとき65）。スクリーンセーバーを解除するときは、本体の**再生**ボタンまたはリモコンの**再生**ボタンを押してください。

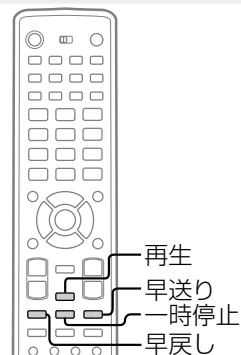
■ **オートパワーオフ機能**

停止状態やスクリーンセーバーが約20分間つづくと、待機状態になります。
液晶モニターを表示させるには、リモコンの**電源**ボタンを押してください。

■ **液晶画面について**

- カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- 液晶モニターのバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります（寿命の目安は、常温で連続使用時約10,000時間です）。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。
- 液晶モニターは、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください。
（なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします）

いろいろな速さの再生

普通の再生以外に、違った速さで再生したり、途中で中断した続きから再生することができます。

DVD-V VCD CD 早戻し、早送りで再生する

再生中に、リモコンの早戻し／早送りボタンを押す

早戻し [◀◀]　早戻し:　早戻しの再生

早送り [▶▶]　早送り:　早送りの再生

早送りまたは早戻しの再生になったあとは、押すたびに再生する速さが切り換わります。

再生中に本体のSKIP(|◀◀/▶▶|)ボタンを押し続ける

早送りまたは早戻しの再生になったあとは、押すたびに再生する速さが切り換わります。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

再生 [▶]

お知らせ

- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕(副映像)は再生されません。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。

DVD-V VCD CD コマ送りで再生する

一時停止(静止画再生)中に、一時停止ボタンを押す

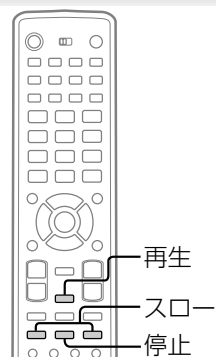
一時停止 [❚❚]　押すたびに、画像をコマ送りします。

■ **普通の再生に戻すには**

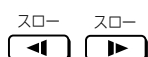
再生ボタンを押す

再生 [▶]

お知らせ

- コマ送り再生中は、音声は再生されません。

DVD-V VCD CD スローモーションで再生する

再生中に、スローボタンを押す

スロー ◀‖ スロー ‖▶

押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

再生中にスロー（◀‖）ボタンを押すと、戻し方向のスローモーションで再生します（DVDビデオディスク再生時）。

■ **普通の再生に戻すには**

再生ボタンを押す

再生 ▶

お知らせ

- スローモーションで再生中は、音声を出力しません。
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

DVD-V VCD CD 中断したあとの続きを再生する（続き再生）

1 再生を中断する位置で停止ボタンを押す

停止 ■

中断した位置を本機が記憶します。

2 再生ボタンを押す

再生 ▶

再生を中断した位置から再生が始まります。

■ **続き再生をしないではじめから再生するには**

1 **停止**ボタンを2回押す

停止 ■

続き再生が解除されます。

2 **再生**ボタンを押す

再生 ▶

DVD-V タイトルの始めから再生されます。

VCD CD ディスクの始めから再生されます。

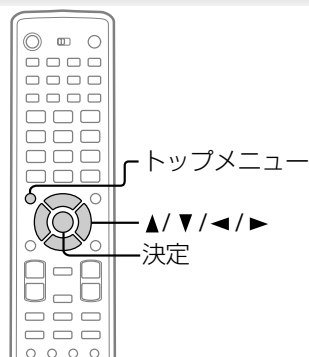
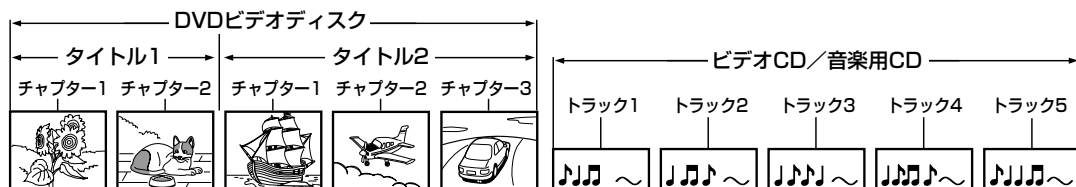
- DVDビデオディスクをディスクの始めから再生したいときは、いったん本機の電源を切り、電源を入れ直したあとで、再生をしてください。

お知らせ

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - ■ PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき 65
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。

いろいろな速さの再生

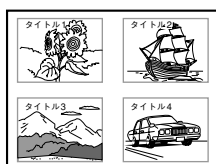
頭出しサーチ

再生したいタイトル、チャプター、トラックを簡単に頭出しできます。

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。指定のタイトル、チャプター、トラックに頭出しできます。

DVD-V VCD CD トップメニューで頭出しする

1 トップメニューボタンを押す

トップメニュー

トップメニューが表示されます。

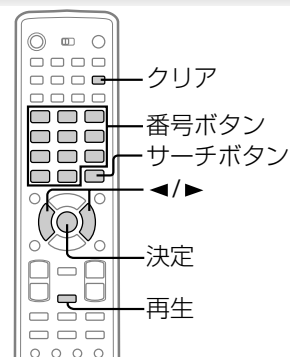
例

2 ▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、再生したいタイトルを選ぶ

トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3 決定ボタンを押す

選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、決定ボタンを押さずにもう一度トップメニューボタンを押すと、もとの位置から再生が始まります。(ディスクによって異なります。)
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った頭出しはできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンをTITLE(タイトル)ボタンと呼んでいる場合があります。

DVD-V VCD CD 番号を指定して頭出しする

1 サーチボタンを数回押す

押すたびに、表示が変わります。タイトル、チャプター、トラックをそれぞれ頭出ししたい場合は、「タイトル」、「チャプター」、「トラック」をそれぞれ表示させます。頭出ししたい箇所で、時間を入力してタイムサーチもできます。46

サーチ 12

例：DVD-V

タイトル 01/03 チャプター --/40

例：VCD CD

トラック --/12

2 番号ボタンを押して、頭出し先の番号を入力する

例：25を入力する

2 → 5

または

+10 11 → +10 11 → 5

DVDビデオディスクでは、「タイトル」と「チャプター」の入力位置を◄ / ► ボタンで切り換えられます。

3 再生ボタン、または決定ボタンを押す

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

- 番号を設定前に戻す場合は、クリアボタンを押してください。
- 頭出し画面は、しばらく何も操作しないと消えます。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。
- 画面表示で、タイトル、チャプター、トラックを変更することもできます。56

頭出しサーチ(つづき)

DVD-V VCD CD 前後のチャプター／トラックを頭出しする

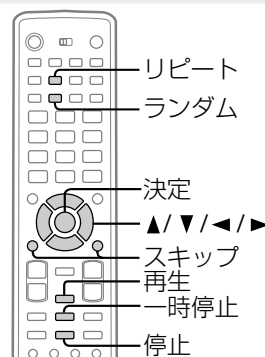
スキップ(⏮/⏭)ボタンを繰り返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

スキップ ⏭ 一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

スキップ ⏮ 現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して2度押しすると、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

MP3/WMAファイル対応CDの再生

MP3/WMAファイルの再生ができます。

MP3/WMAファイルの再生

■ **準備**

このプレーヤーに適合したMP3/WMA対応ディスクは以下のものに限られています。使用する前にお確かめください。

ディスクの種類：	CD-ROM、CD-R、CD-RW
サンプリング周波数：	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート：	WMA：48 kbps ～192 kbps（CBR） MP3：32 kbps ～ 320kbps（CBR）
フォーマット：	MODE 1
ファイルシステム：	ISO9660レベル、UDF without interleave
ファイル名：	8文字以下で、拡張子「MP3」または「WMA」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.MP3」、「○○○○○○○○.WMA」） “?!><+*}|{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。 英数字のみで構成されていること。 50バイト以下
ファイルの総数：	650以下
WMAコーデック方式版：	V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)

1 **MP3/WMAファイルが記録されているディスクを入れ、ディスクホルダーを閉める**

メニューが表示されます。

2 **▲/▼/◄/►ボタンで再生したいファイル名を選択する**

3 **再生ボタンまたは、決定ボタンを押す**

再生が始まります。

■ **再生を停止する**

停止ボタンを押す

■ **再生を一時停止する**

再生中に、**一時停止**ボタンを押す

一時停止 [II]

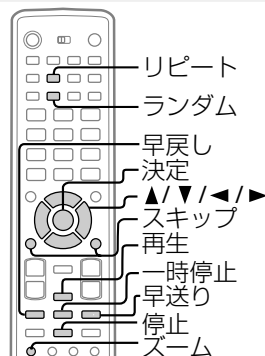
普通の再生に戻すには、再生ボタンを押します。

お知らせ

- ディスクによっては再生できないものがあります。
- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。
- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力されるMP3/WMAファイルの音声は、「音声出力設定」に関係なく、リニアPCM音声で出力されます。63
- 停止ボタンを押して再生を停止したあとに、続けて再生ボタンを押した場合、再生は止めた位置からではなくその曲の最初から始まります。
- スキップ 、リピート 、ランダム の各機能も使えます。

インターネットからMP3ファイルや音楽をダウンロードするためには、許諾が必要となりますので、ご注意ください。

JPEGファイルの再生

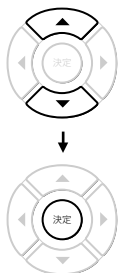
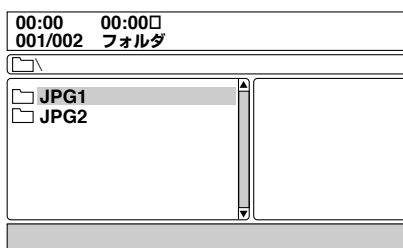
CD-Rに記録されたJPEGファイルを再生できます。

JPEGファイルの再生

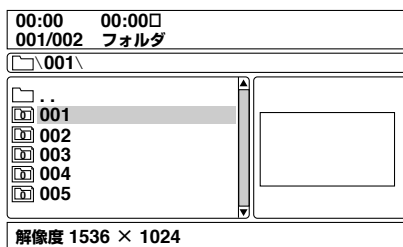
■ 準備

JPEG形式の画像が記録されたディスクを準備してください。44

1 ＪPEGファイルの含まれたディスクをはめ、ディスクカバーを閉める

メニューが表示されます。
コダック ピクチャーCDの場合、スライドショーが自動的にスタートします。また、メニューは表示されません。(次ページ参照)

2 ▲ / ▼ ボタンを押して、フォルダを選び、決定ボタンを押す

例：

3 ▲ / ▼ ボタンを押して、ファイルを選ぶ

例：

4 再生ボタンまたは、決定ボタンを押す

再生

選んだ画像からスライドショーが始まります。最後までいくとトップメニューに戻ります。

■ スライドショーを停止する

ストップボタンを押す

停止

サムネイルモード(9枚表示)になります。

■ スライドショーを一時停止する

再生中に、**一時停止**ボタンを押す

一時停止

スライドショーに戻すには、再生ボタンを押します。

■ 他の画像に切り換えるには

再生中に、**スキップ**(⏮/⏭)ボタンを押す

スキップ
スキップ

⏮：前の画像に切り換える
⏭：次の画像に切り換える

お知らせ

- ファイルのサイズによっては画像が表示されないことがあります。
- メニューが表示されていないとき、メニューボタンを押すと、メニューが表示されます。

■画像を回転させる

表示中に、▲ / ▼ / ◄ / ►ボタンを押す

▲ : 画像が上下に反転します。
▼ : 画像が左右に反転します。
◄ : 画像が反時計回りに90度回転します。
► : 画像が時計回りに90度回転します。

■画像を拡大する

1 再生中、**ズーム**ボタンを押す

ズーム表示します。

2 **早送り**／**早戻し**ボタンを押す

早送りボタン : 拡大
早戻しボタン : 縮小
早送り／早戻しボタンを押すたびに倍率が変わります。

ズーム表示中、▲ / ▼ / ◄ / ►ボタンを押して画像を移動させることができます。
もう一度ズームボタンを押すと、ズーム表示が終了します。

■ランダムに表示するには

ランダムボタンを押す

ランダム

ランダム : 選択したフォルダの中のファイルを順不同に表示します

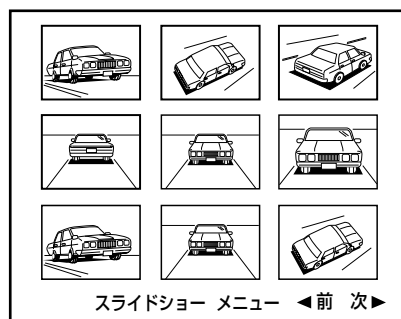
■繰り返し表示するには

リピートボタンを押す

リピートボタンを繰り返し押して、リピートモードを選択します。

リピートファイル : 選択したファイルを表示しつづけます。
リピートフォルダ : 選択したフォルダ内のファイルを繰り返し表示します。

■サムネイルモード

例 :

▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、画像を選び、**再生**ボタンを押します。選んだ画像からスライドショーが始まります。

「スライドショー」を選び、**決定**ボタンまたは**再生**ボタンを押します。スライドショーが始まります。

「メニュー」を選び、**決定**ボタンまたは**再生**ボタンを押します。JPEGファイル再生機能が一覧表示されます。

「◄前」を選び、**決定**ボタンまたは**再生**ボタンを押します。前の9枚の画像が表示されます。

「次► 」を選び、**決定**ボタンまたは**再生**ボタンを押します。次の9枚の画像が表示されます。

停止ボタンを押します。
メニュー画面に戻ります。

JPEGファイルの再生（つづき）

■コダック　ピクチャーCDを再生する

コダック　ピクチャーCDを挿入します。
スライドショーは自動的に開始されます。

終了すると、サムネイルモードになる場合があります。
停止ボタンを押しても、サムネイルモードになります。

対応JPEGファイル

当社で動作確認済みの対応ディスクは以下のとおりです。

コダック　ピクチャーCD

本機で対応できるJPEGディスクは、以下のものに限られています。
使用する前にお確かめください。

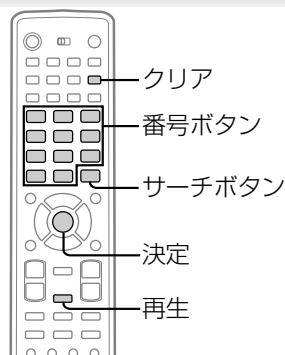
- ディスクの種類：　CD-ROM、CD-R、CD-RW
- ファイルシステム：ISO9660、UDF without interleave
- ファイル名：　8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.JPG」）
  “？！＞＜＋＊｝｛` [@:]：；＼／．，”etc.など、特殊な文字が使われていないこと。
  英数字のみで構成されていること。
- ファイルサイズ：　１０Mバイト以下
- フォーマット：　BASELINE,PROGRESSIVE
- 解像度：　Baseline JPG:3072×2048
  Progressive　JPG:幅（高さ＋128）＜3300000

再生（応用編）

こんな使いかたもできます。

- タイムサーチ再生
- リピート再生
- メモリー再生
- ランダム再生
- ズーム再生
- 音質の切換え
- アングルの切換え
- 字幕の表示と切換え
- 音声の切換え
- 使用状態と各種設定
- 画質の切換え

タイムサーチ再生

ディスクの経過時間を指定して頭出しができます。

DVD-V VCD CD タイムサーチで頭出しする

1 サーチボタンを数回押す

押すたびに、画面が変わります。
DVDビデオディスクでは、「時間」と表示されるまでサーチボタンを数回押してください。
ビデオCDまたは、オーディオCDでは、「移動先ディスク」または「移動先トラック」が表示されるまでサーチボタンを数回押してください。

サーチ 12

例：DVD-V

タイトル　01/03　時間　–:– –:– –

チャプター　01/40　時間　–:– –:– –

例：VCD CD

移動先ディスク　:– –:– –

移動先トラック　:– –:– –

2 番号ボタンを押して、時間を入力する

例

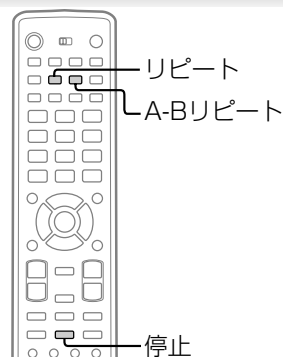
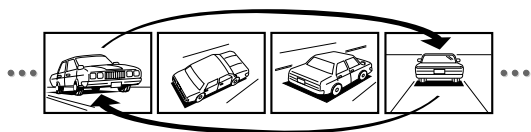
タイトル　01/03　時間　1:25:30

3 再生ボタン、または決定ボタンを押す

選択したところから再生が始まります。

お知らせ
- 番号をリセットするには、クリアボタンを押します。
- 頭出し画面は、しばらく何も操作しないと消えます。
- ディスクによっては、タイムサーチできないものがあります。
- 場面によっては、タイムサーチできないことがあります。

リピート再生

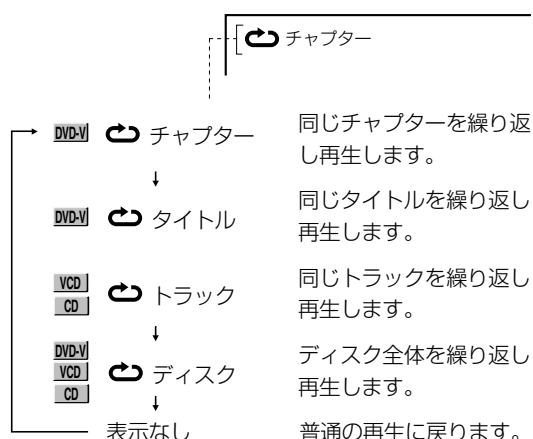
タイトルやその中のチャプターまたはトラックを繰り返し再生できます。

DVD-V VCD CD タイトル、チャプターまたはトラックを繰り返し再生する

再生中、リピートボタンを押す

リピート

押すたびに、リピートモードが以下のように切り換わります。

チャプター

DVD-V	チャプター	同じチャプターを繰り返し再生します。
DVD-V	タイトル	同じタイトルを繰り返し再生します。
VCD CD	トラック	同じトラックを繰り返し再生します。
DVD-V VCD CD	ディスク	ディスク全体を繰り返し再生します。
	表示なし	普通の再生に戻ります。

■**普通の再生に戻すには**

リピートアイコンが消えるまで、繰り返し **リピート**ボタンを押す

リピート

または、**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

- ディスクによっては、繰り返し再生できないものがあります。
- 表示画面上で、繰り返し再生することもできます。56

DVD-V VCD CD 範囲を指定して繰り返し再生する

1 繰り返し再生したい範囲の始点(A)で、A-Bリピートボタンを押す

A-Bリピート

A

2 繰り返し再生したい範囲の終点(B)で、A-Bリピートボタンを押す

A-Bリピート

自動的にA点に戻り、指定した範囲(A-B間)の繰り返し再生が始まります。

AB

■**普通の再生に戻すには**

A-Bリピートボタンを押す

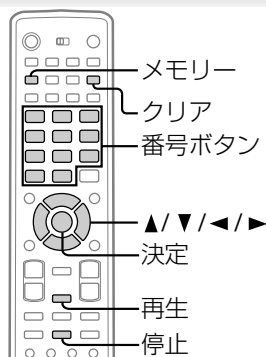
A-Bリピート

または、**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

- ディスクによっては、A-B間の繰り返し再生ができないものがあります。
- 選んだタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、繰り返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。

メモリー再生

再生したいタイトルやチャプター、トラックを組み合わせ、好きな順番で再生できます。
最大20とおりまで設定できます。

DVD-V VCD CD 好きな順番でタイトル、チャプター、トラックを設定し、再生する

1 停止中、メモリーボタンを押す

メモリー再生の設定画面が表示されます。

例：DVD-V

TT：タイトル番号
CH: チャプター番号

例：VCD CD

01	--	06	--
02	--	07	--
03	--	08	--
04	--	09	--
05	--	10	--

2 再生したい順番に番号を入力し、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すと、カーソル（■■■）が 移動します。

►►|ボタンを押すと、次の設定画面に進みます。

3 ▼ ボタンを押して、「再生」を選び、決定ボタンまたは、再生ボタンを押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

■設定内容を変更するには

1 画面上で、▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、変更したい項目にカーソルを合わせる
2 選んだ項目を手順2～3を行って、変更する

■設定内容を取り消すには

1 画面上で、▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンを押して、取り消したい項目にカーソルを合わせる
2 **クリア**ボタンを押す

■メモリー再生から普通の再生に戻すには

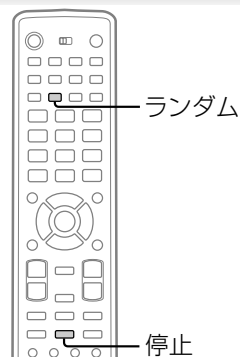
1 **メモリー**ボタンを押して、設定画面を表示させる
2 「停止」を選び、**決定**ボタンを押す

または**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

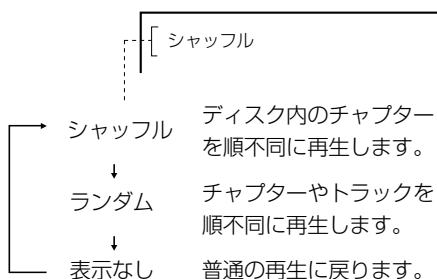
- 番号をリセットするには、クリアボタンを押します。
- ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
- 画面の表示中に「終了」を選び、決定ボタンを押すか、メモリーボタンを押すと、メモリー画面が消えます。
- 本機の電源を切ったときは、設定したメモリー内容が解除されます。

ランダム再生

チャプターやトラックを順不同に再生できます。

DVD-V VCD CD チャプターやトラックを順不同に再生する

ランダムボタンを押す

押すたびに、ランダムモードが以下のように切り換わります。

シャッフル	ディスク内のチャプターを順不同に再生します。
ランダム	チャプターやトラックを順不同に再生します。
表示なし	普通の再生に戻ります。

再生中、ランダムボタンを押すと、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■普通の再生に戻すには

ランダム画面が消えるまで、繰り返し**ランダム**ボタンを押す

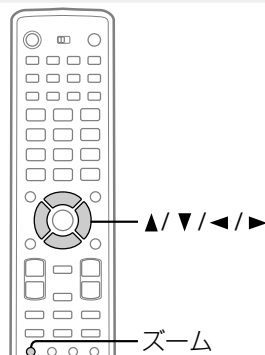
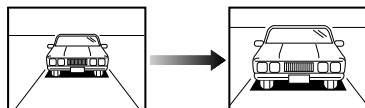
または、**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

• ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。

ランダム再生

ズーム再生

画面を拡大(ズーム再生)できます。

DVD-V VCD CD ズーム再生する

1 再生中、スロー再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に、ズームボタンを押す

ズーム

ズーム再生状態になり、ズームアイコンが表示されます。

例

2×

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

倍率

固定倍率を使う

以下の種類が選べます。

ー拡大

ー通常再生

ズーム

ズームボタンを繰り返し押す

位置

移動する

▲/▼/◄/► ボタンを押す

■ **普通の再生に戻すには**

ズームアイコンが消えるまで、**ズーム**ボタンを繰り返し押す

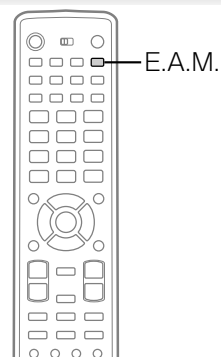
ズーム

または**停止**ボタンを押して終了する

お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示(マーク)などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。

音質の切換え(E.A.M.※)

音質を簡単に切り換えられます。
※E.A.M.＝Enhanced Audio Mode

DVD-V VCD CD 音質を切り換える

1 E.A.M.ボタンを押す

E.A.M.

設定画面が表示されます。

音場効果：ノーマル

2 E.A.M.ボタンを押して、音質を選ぶ

E.A.M.

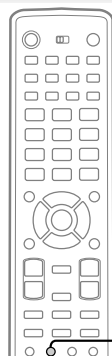
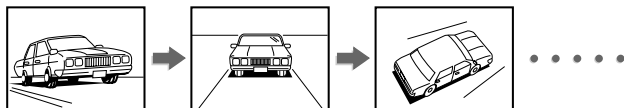
押すたびに、音質が切り換わります。

ノーマル：　普通の音声です。
3D：　2本のスピーカーだけでも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。
3D(ヘッドホーン)：
ヘッドホーンを使うときに、広がりと奥行き感のある音場効果になります。
ムービーボイス：
人の会話などをよりわかりやすく聞こえるようにします。(ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオディスクの再生時だけです。)
- ビットストリーム/PCM音声出力端子で、この音場効果を働かせるときは、「音声出力設定」を「PCM」に設定してください。63

お知らせ

- 実際の効果は、音響設備によって異なります。
- 実際の効果は、ディスクによって異なります。
- ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプに接続する場合は、「ノーマル」を選択してください。「ノーマル」以外では、ドルビーサラウンド・プロロジックの機能は、正常な音とならない場合があります。

アングルの切換え

複数の角度(マルチアングル)で記録されている場所では、その中から画像を好きなアングルに切り換えられます。

DVD-V アングルを切り換える

1 再生中に、アングルボタンを押す

アングル

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、画面にアングルアイコン( )が表示されます。
アングルアイコンが表示されているときに、好きなアングルに切り換えることができます。

例

1/5

2 アングルボタンを押して、アングルを選ぶ

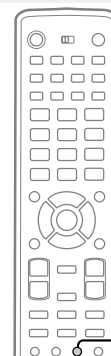
アングル

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
- 表示画面上で、アングルを変更することもできます。56

字幕の表示と切換え

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。
複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。

DVD-V VCD CD 字幕の言語を切り換える

1 再生中に、字幕ボタンを押す

字幕

現在の字幕設定が表示されます。

例

字幕　01/02: 日本語

2 字幕設定の表示中に、字幕ボタンを押す

字幕

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に｢字幕なし｣と表示されるまで、数回**字幕**ボタンを押す

字幕

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。
- 表示画面上で、字幕を変更することができます。56

お知らせ

- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語を選んで再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

音声の切換え

音声

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。

DVD-V VCD CD 音声を切り換える

1 再生中に、音声ボタンを押す

音多
音声

現在の音声設定が表示されます。

例

音声　1/3: Dolby D 3/2.1CH 日本語

2 音声設定の表示中に、音声ボタンを押す

音多
音声

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

■ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、**音声**ボタンを押して、音声チャンネルを選ぶ

音多
音声

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。
- 表示画面上で、音声を変更することができます。56

■ 出力される音声の種類

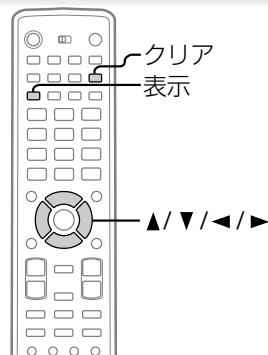
ディスク	音声方式		機能設定画面での「音声出力設定」60〉63〉と音声出力					
			「ビットストリーム」		「アナログ2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV OUT音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV OUT音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV OUT音声出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		48 kHz/20 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/20 bit
		48 kHz/24 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/24 bit
		96 kHz/16 bit	96 kHz/16 bit	96 kHz/16 bit	–	96 kHz/16 bit	96 kHz/16 bit	96 kHz/16 bit
		96 kHz/20 bit	96 kHz/20 bit	96 kHz/20 bit	–	96 kHz/20 bit	96 kHz/20 bit	96 kHz/20 bit
		96 kHz/24 bit	96 kHz/24 bit	96 kHz/24 bit	–	96 kHz/24 bit	96 kHz/24 bit	96 kHz/24 bit
	DTS		ビットストリーム	–	ビットストリーム	–	–	–
	MPEG1, MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
ビデオCD	MPEG1		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
音楽用CD	Linear PCM 44.1 kHz/16 bit		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
	DTS		ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）

（網掛け）：3D再生可能
（ただしダウンサンプリングされます。）

- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力される88.2kHz以上の信号は、以下の場合にはダウンサンプリングされた信号(44.1kHzまたは48kHz)になります。
  －音場効果を「3D」に設定したとき。51〉
  －著作権保護処理されたディスクのとき。
- 著作権保護処理されたディスクの場合、信号は16bitになります。

音声の切換え

使用状態と各種設定

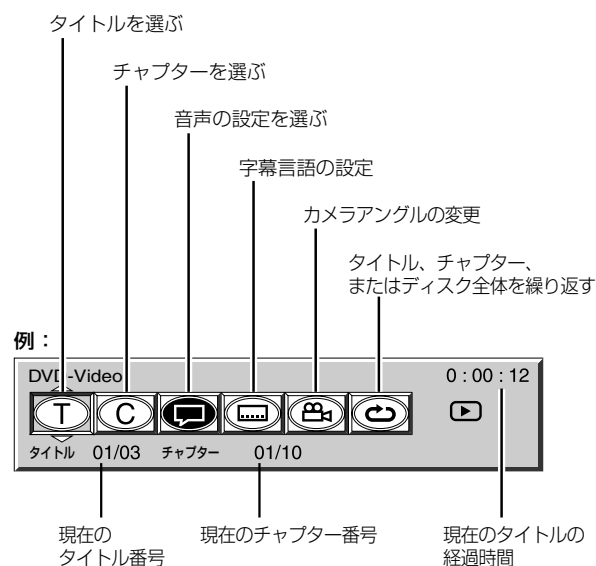
ディスクの使用状態や本機の操作内容などを、画面で確認できます。また、画面上から各種設定ができます。

DVD-V VCD CD 使用状態と各種設定

1 再生中に、表示ボタンを押す

以下のような画面が表示されます。
例：

2 ◄ / ► ボタンを押して、項目を選ぶ

3 ▲ / ▼ ボタンを押して、選んだ項目を変更する

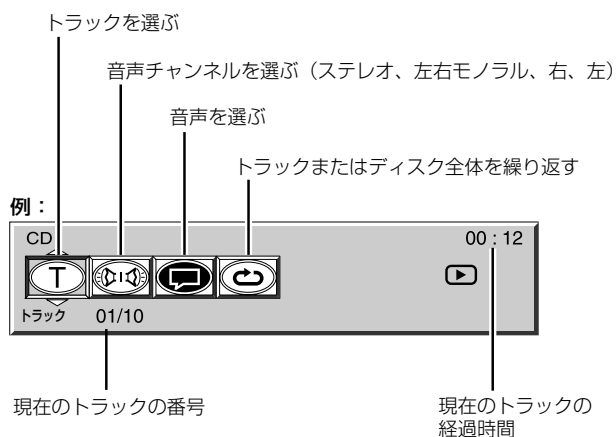
■DVDビデオディスクを再生しているとき

■画面表示を消す

表示ボタンまたは**クリア**ボタンを押す

お知らせ

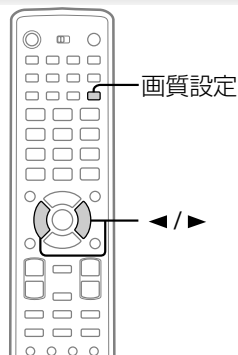
しばらく操作をしないと、設定用の画面は消えます。

使用状態と各種設定

■ビデオCDまたは、オーディオCDを再生しているとき

お知らせ

ディスクによっては、これらの機能が働かないものもあります。

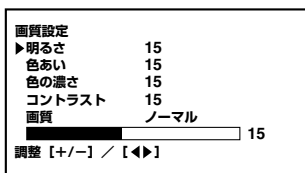
画質の切換え

画質をお好みに合わせて簡単に切り換えられます。

DVD-V VCD CD 画質を切り換える

1 画質設定ボタンを押す

設定画面が表示されます

2 ◄ / ► ボタンを押して、設定を変える

明るさ　　　：0(暗)から30(明)
色あい　　　：0(赤)から30(緑)
色の濃さ　　：0(薄)から30(濃)
コントラスト：0(低)から30(高)
画質　　　　：ソフトまたはノーマル

■画面の明るさを設定する

画面の明るさを4段階に切り換えられます。

ディマーボタンを押して、画面の明るさを選ぶ

お知らせ

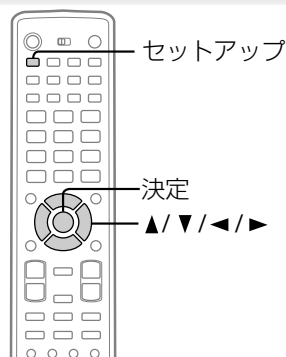
この画質調整では、TVモードの画質も変わります。30

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

● 初期設定の変更と機能の設定

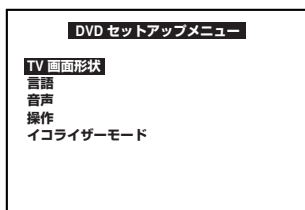
初期設定の変更と機能の設定

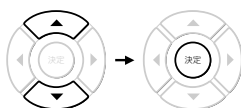
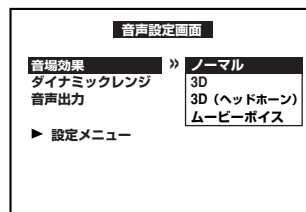
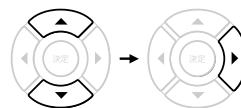
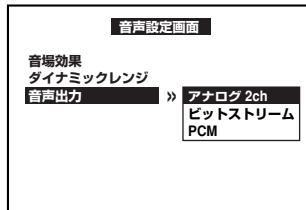
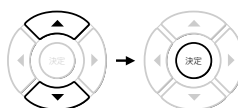
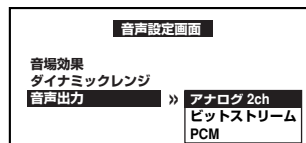
本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

DVD-V VCD CD 設定のしかた

1 停止中に、セットアップボタンを押す

セットアップ

機能設定画面が表示されます。

DVD セットアップメニュー
TV 画面形状
言語
音声
操作
イコライザーモード

2 ▲ / ▼ ボタンを押して、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

(次ページをご覧ください。)

3 ▲ / ▼ ボタンを押して、設定したい項目を選び、► ボタンを押す

4 61ページ以降の説明を参照して、▲ / ▼ ボタンなどで設定し、決定ボタンを押す

5 ◄ ボタンを押して、手順3、4を繰り返して他の項目も設定する

設定メニューの最初の画面に戻るには、▼ ボタンを押して「設定メニュー」を選び、**決定**ボタンを押してください。

6 セットアップボタンを押す

セットアップ

画面が消え、設定は終わりです。

お知らせ

セットアップボタンは、再生中または停止中(停止ボタンを1回押す)にも押すことはできますが、項目によっては、設定ができない場合もあります。
このときは停止ボタンを2回押し、いったん再生を止めてから設定してください。

	項目		設定内容	設定の詳細ページ
TV画面形状	TV画面形状	DVD-V	テレビ画面の形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	62
言語	画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。	62
	音声言語	DVD-V	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	62
	字幕言語	DVD-V	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	62
	ディスクメニュー言語	DVD-V	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	62
音声	音場効果	DVD-V VCD CD	音質を選びます。	63
	ダイナミックレンジ	DVD-V	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。	63
	音声出力	DVD-V VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。	63
操作	パレンタルロック	DVD-V	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。	64
	PBC	VCD	ビデオCD（PCB付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。	65
	スクリーンセーバー	DVD-V	スクリーンセーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。	65
	メニュースタイル	DVD-V VCD CD	画面の設定を変更します。	65
	出荷時設定	DVD-V VCD CD	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	65
イコライザーモード	イコライザータイプ	DVD-V VCD CD	お好みの音響効果を選びます。	65

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

TV 画面形状 » 4:3 ノーマル
4:3 レターボックス
► 設定メニュー

TV画面形状 DVD-V

4:3ノーマル： テレビ画面全体に再生画面を表示します。画面の片側または両側の画像部分がカットされます。

4:3レターボックス： テレビ画面に対して横長に表示します。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3ノーマルの画面形状で再生されます。

画面表示言語 » 日本語
English
音声言語
字幕言語
ディスクメニュー言語
► 設定メニュー

画面表示言語 DVD-V VCD CD

日本語： 日本語で画面表示します。
English：英語で画面表示します。

音声言語 DVD-V

日本語：日本語で音声を再生します。
英語： 英語で音声を再生します。

お知らせ

ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

字幕言語 DVD-V

日本語：日本語で字幕を表示します。
英語： 英語で字幕を表示します。

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

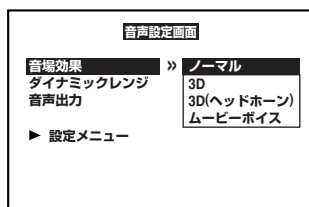
ディスクメニュー言語 DVD-V

日本語：日本語でディスクメニューを表示します。
英語： 英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ

ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

音場効果　»　ノーマル
ダイナミックレンジ　3D
音声出力　3D(ヘッドホーン)
ムービーボイス

► 設定メニュー

音場効果 DVD-V VCD CD

音質をお好みに合わせて切り換えられます。

ノーマル：　普通の音声です。

3D：　2本のスピーカーだけでも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

3D(ヘッドホーン)：
ヘッドホーンを使うときに、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

ムービーボイス：
人の会話などをよりわかりやすく聞こえるようにします。(ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオディスクの再生時のみ)
- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力する音声をこの設定で聞くときは、「音声出力設定」を必ず「PCM」にしてください。

お知らせ

リモコンのE.A.M.ボタンを押しても、同じ設定ができます。51

ダイナミックレンジ DVD-V

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。

オン：ダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わります。

音声出力 DVD-V VCD CD

接続に合わせて選びます。
出力される音声の種類については、55ページをご覧ください。

アナログ2ch：　AV出力端子で、ドルビープロロジック・ステレオシステムに、接続しているとき。73

ビットストリーム：　ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内臓したアンプを本機に接続しているとき。72 73
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

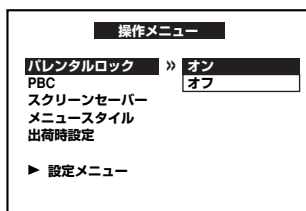
PCM：　2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。73
ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたDVDビデオディスクを再生すると、PCM(2ch)に音声を変換して出力します。

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

操作メニュー

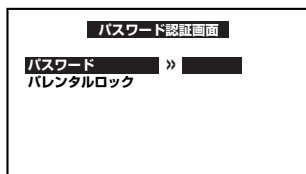
パレンタルロック	»	オン
PBC		オフ
スクリーンセーバー		
メニュースタイル		
出荷時設定		

► 設定メニュー

パレンタルロック DVD-V

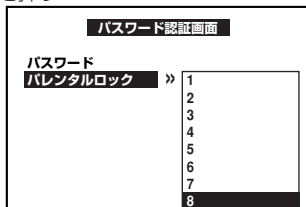
パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。

• ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

オン：パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変えるときに選びます。決定ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。
オフ：パレンタルロック機能は働きません。決定ボタンを押したあとで、以下の手順1)を行ってください。

パスワード認証画面

1）番号ボタンを押して、任意の5桁の暗証番号を入力する

2）▲/▼ボタンを押して、パレンタルロックを選び、決定ボタンを押す

パスワード認証画面

3）◄ ボタンを押す

4）▼ボタンを押して、「操作」を選び、決定ボタンを押す

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「オフ」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。
「US」(アメリカ)を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル7：NC-17	レベル3：PG
レベル6：R	レベル1：G
レベル4：PG13	

「US」以外を選んだ場合のレベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

手順1)～4)を行う

■暗証番号を変えるには

1)「オン」「オフ」を選んだあとで、9ボタンを5回押す

9 → 9 → 9 → 9 → 9

暗証番号が解除されます。

2)番号ボタンで新しい5桁の暗証番号を入力する

初期設定の変更と機能の設定

PBC VCD

オン：ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。

オフ：ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーンセーバー DVD-V

オン：スクリーンセーバーが働きます。

オフ：スクリーンセーバーは働きません。

メニュースタイル DVD-V VCD CD

画面の設定を変更します。

タイプ1：タイプ1で画面表示します。

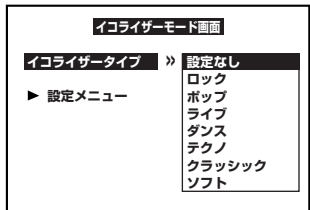
タイプ2：タイプ2で画面表示します。

出荷時設定 DVD-V VCD CD

リセット：すべての設定を出荷時の状態に戻します。

イコライザーモード画面

イコライザータイプ » 設定なし / ロック / ポップ / ライブ / ダンス / テクノ / クラッシック / ソフト

► 設定メニュー

イコライザータイプ DVD-V VCD CD

お好みの音響効果を選びます。

設定なし：音響効果は働きません。

ロック：ロック調になります。

ポップ：ポップ調になります。

ライブ：ライブ調になります。

ダンス：ダンス調になります。

テクノ：テクノ調になります。

クラシック：クラシック調になります。

ソフト：全体をソフトにします。

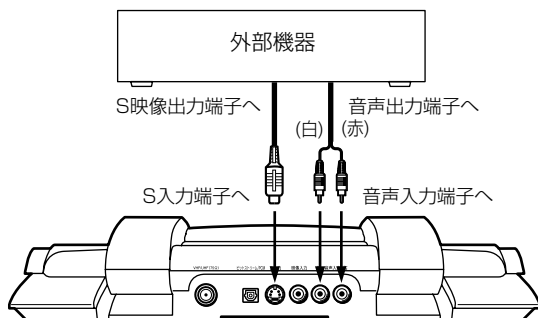
接続

外部機器やオーディオシステムに接続できます。

外部機器との接続

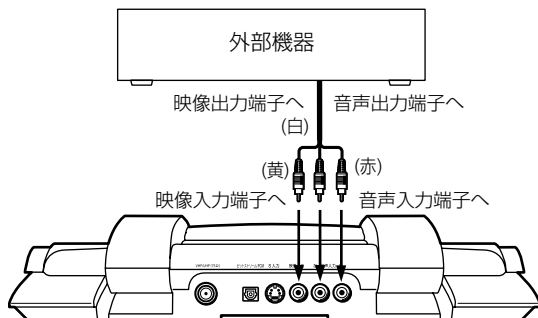
外部機器(DVDプレーヤーやチューナーなど)の映像出力端子と本機を接続することによって、
外部機器の映像を本機で見ることができます。
接続コードは市販品をお買い求めください。

S映像端子/映像端子/D1端子との接続

■ S入力端子との接続

入力切換　S入力モードになるまで**入力切換**ボタンを繰り返し押す

TV → DVD → D1入力 → S入力 → 映像入力

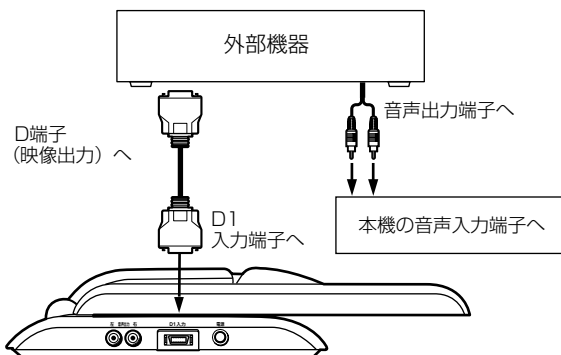
「S入力」と表示されます。

■ 映像入力端子との接続

入力切換　映像入力モードになるまで**入力切換**ボタンを繰り返し押す

TV → DVD → D1入力 → S入力 → 映像入力

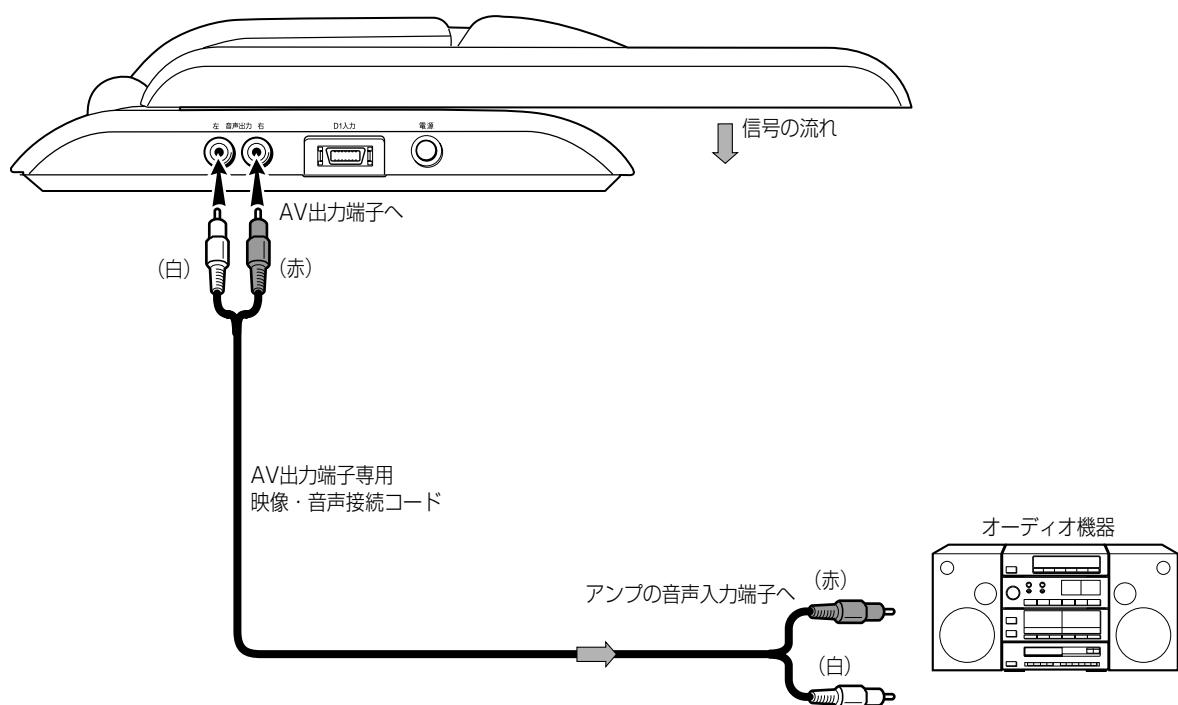
「映像入力」と表示されます。

■ D1入力端子との接続

DVDプレーヤーなどのD端子と接続して、より高画質で楽しむことができます。
D1:480i(インターレース)に対応しています。

入力切換　D1入力モードになるまで**入力切換**ボタンを繰り返し押す

TV → DVD → D1入力 → S入力 → 映像入力

「D1入力」と表示されます。

外部機器との接続

オーディオ機器との接続

AV出力端子やビットストリーム/PCM音声出力端子と、オーディオ機器の音声入力端子とを接続すると、つないだオーディオ機器でディスクの音声が楽しめます。
オーディオ機器との接続についてさらに詳しくは、71をご覧ください。

- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2ch」	60 63

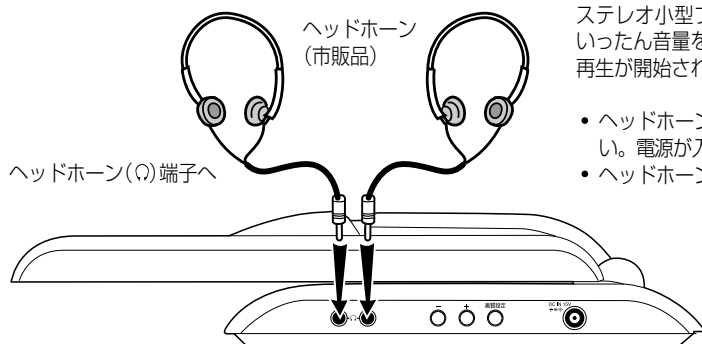
お願い

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によってスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときには、必ずステレオアンプの電源を切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

ヘッドホーンの接続

ヘッドホーンで音声を楽しめます。

⚠注意

ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ヘッドホーンの接続
ステレオ小型プラグのヘッドホーンを接続します。接続するときは、いったん音量を下げてから、音量を調整してください。
再生が開始されたら、お好みの音量に調整してください。

- ヘッドホーンの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。電源が入った状態での抜き差しは、誤動作の原因となります。
- ヘッドホーンは二つ接続できます。

他の機器との接続

お手持ちのオーディオシステムと接続して、迫力ある音響効果を楽しめます。

- 出力される音声の詳細については 55をご覧ください。
- 図中の記号の意味は以下のとおりです。

：フロントスピーカー
：サラウンドスピーカー
：サブウーファー
：センタースピーカー
：信号の流れ

お願い

- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子は、ドルビーデジタルレシーバーのAC－3RF入力へ接続しないでください。この入力端子は、レーザーディスク専用で本機のビットストリーム/PCM音声出力端子とは互換性がありません。
- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子は、お使いのレシーバーまたはプロセッサーの「デジタル(光)」入力へ接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によってスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、必ずステレオアンプの電源を切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

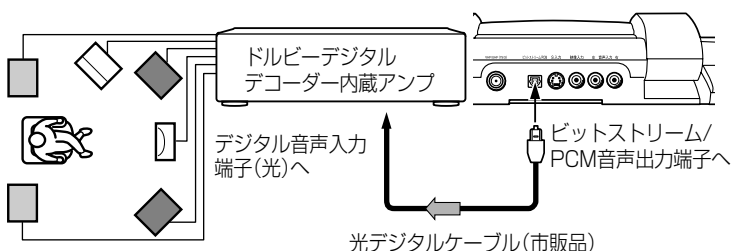
⚠ 注意

- 本機のビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG2のデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、機能設定画面で「音声出力設定」を必ず「PCM」にしてください。60 63 大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
- DTS対応のディスク(音楽用CD)を再生すると、音声出力端子から過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機の音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機のビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

他の機器との接続（つづき）

ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する

ドルビーデジタル
最新の劇場公開映画で使われている代表的なサラウンド音響技術であるドルビーデジタルの臨場感が、ご家庭でも再現できます。本機とドルビーデジタルデコーダーを内蔵した6チャンネルアンプ、またはドルビーデジタルプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

ドルビーデジタル
デコーダー内蔵アンプ
デジタル音声入力
端子(光)へ
ビットストリーム/
PCM音声出力端子へ
光デジタルケーブル(市販品)

> ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
> Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- ドルビーデジタル対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	60 63
音声方式	DD D	55

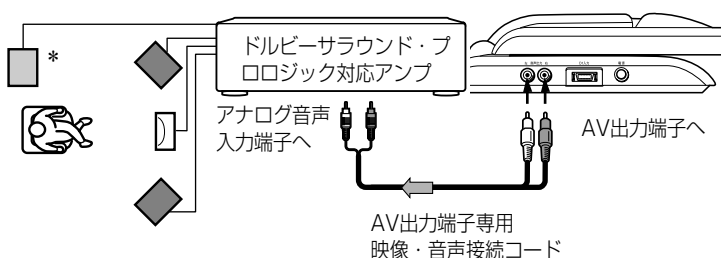
ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと接続する

ドルビーサラウンド・プロロジック
ドルビーサラウンド・プロロジック対応アンプと、フロント、センター、サラウンドスピーカーを接続することによって、迫力ある臨場感で音声を楽しめます。

■ ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプでドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむには

「ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する」と同じ接続をします。アンプの取扱説明書にしたがって、ドルビーサラウンド・プロロジックが聞けるように設定してください。

■ ドルビーデジタルに対応していないアンプでドルビーサラウンド・プロロジックを楽しむには

以下のように接続してください。

- 下の設定を行ってください。

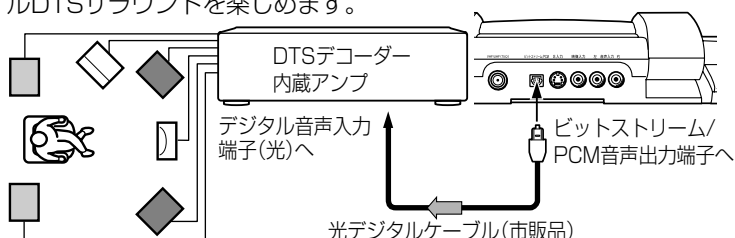
設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2ch」	60 63

この接続方法でドルビーサラウンド・プロロジックをお楽しみになるときは、必ず「アナログ2ch」に設定してください。

＊サラウンドスピーカーは1本または2本接続します。2本接続しても、背面スピーカーからの音声出力はモノラルになります。

DTSデコーダー内蔵アンプと接続する

DTS

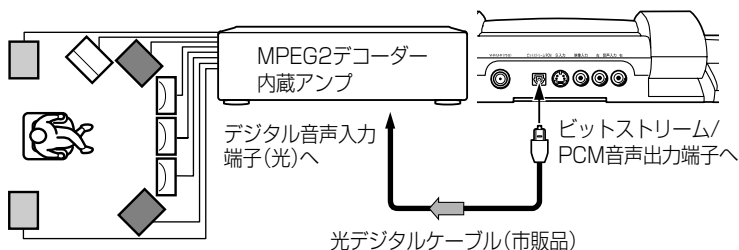
劇場公開映画などで使われている高品位のサラウンド音響技術であるDTSの臨場感が、DVDビデオディスクや音楽用CDで再現できます。本機とDTSデコーダーまたはDTSプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクや音楽用CDの迫力ある5.1チャンネルDTSサラウンドを楽しめます。

DTSおよびDTS Digital Surround はDigital Theater Systems, Inc. の商標です。

- DTS対応のDVDビデオディスクまたは音楽用CDをお使いください。
- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	60 63
音声方式	DTS	55

MPEG2音声デコーダー内蔵アンプと接続する

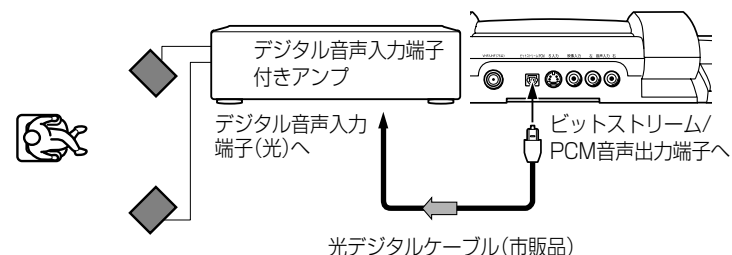
MPEG2

本機とMPEG2デコーダーを内蔵したアンプ、またはMPEG2プロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

- MPEG2対応のDVDビデオディスクをお使いください。
- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「ビットストリーム」	60 63
音声方式	MPEG2	55

デジタル音声入力端子付きアンプと接続する

2チャンネルデジタルステレオ

デジタル音声入力端子付きアンプとスピーカーシステム(フロント右、左)につないで、2チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しめます。

- 下の設定を行ってください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「PCM」	60 63

その他

- 故障かな…？と思ったときは
- 仕様
- 保証とアフターサービス

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状と処置

症状	原因	処置	参照ページ
電源がはいらない。	•ACアダプターまたは電源プラグが抜けている。	•ACアダプターまたは電源プラグをしっかりと差し込む。	20
電源が自動的に切れた。	•オートパワーオフ機能が働いた。	•再生ボタンを押す。	35
テレビが映らない。	•アンテナを接続していない。	•アンテナを接続する。	19
	•テレビモードに切り換えていない。	•テレビモードに切り換える。	25
	•チャンネルが正しく設定されていない。	•チャンネルを正しく設定する。	26, 27
テレビ受信時に映りが悪い。	•電波が弱い。	•ブースター（市販品）を使用する。	–
接続した外部機器の映像が映らない。	•接続している機器の外部入力モードの切り換えが正しくない。	•接続している機器の外部入力モードを、本機で入力できるように切り換える。	68
音声が出ない。	•音声接続コードでつないでいる機器の入力切り換えが正しくない。	•音声接続コードをつないでいる機器の入力切り換えを、本機からの音声が出力されるように切り換える。	68, 69
	•ボリュームが小さすぎる。	•ボリュームボタンを押して調節する。	29, 34
	•音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	•音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。	68-73
	•音声出力が正しく設定されていない。	•音声出力を正しく設定する。	55, 60 63
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	•ディスクがよごれている。	•ディスクを取り出し、きれいにする。	13
	•早送り、早戻しをした。	•画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。	–
	•再生中に衝撃を与えた、または移動した。	•画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。	–
	•ディスクがしっかりとはまっていない。	•ディスクをいったんはずし、もう一度はめ直す。	32

症状	原因	処置	参照ページ
再生が始まらない。	•DVDモードに切り換えていない。	•DVDモードに切り換える。	32
	•ディスクがはいっていない。	•ディスクを入れる。	32
	•本機で再生できないディスクがはいっている。	•再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。	12
	•ディスクを裏返しに入れている。	•再生面を下にして入れる。	32
	•ディスクがななめにはいっている。	•ディスクをきちんと収まるように入れる。	32
	•ディスクがよごれている。	•ディスクをきれいにする。	13
	•パレンタルロックが設定されている。	•パレンタルロックを解除、または規制レベルを変更する。	64
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	•リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	•これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。	–
操作ボタンを押しても動作しない。	•静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	•電源ボタンで電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。	–
リモコンが動かない。	•リモコンが受光部に向いていない。	•リモコンの送信部を本機の受光部に向ける。	18
	•リモコンと受光部の間が遠すぎる。	•約7m以内のところで操作する。	18
	•リモコンの電池が消耗している。	•電池を交換する。	18
	•本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	•本体を直射日光などを避けるような場所に置く。	18

仕様

本体部／端子部／液晶画面部／付属品

[本体部]

電源	入力端子 DC15V（定格電流：4A） AC100V 50/60Hz（付属電源コード使用時）
質量	5.3kg
外形寸法	幅350×高さ72×奥行344mm（突起部除く）
信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
受信チャンネル	VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63）
使用レーザー	半導体レーザー 波長650nm/795nm
音声周波数特性（デジタル音声）	DVDリニア音声 ：48kHz サンプリング 4Hz～22kHz (JEITA) ：96kHz サンプリング 4Hz～44kHz (JEITA)
使用環境条件	温度：5℃～35℃

[端子部]

音声出力（ビットストリーム／PCM音声出力端子）	光コネクター×1
音声出力	2.0V(rms)、100Ω、ピンジャック×1
映像入力	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1
S映像入力	（Y）1.0V（p-p）（75Ω）、同期負 （C）0.286V（p-p）（75Ω） ミニDIN4ピン×1
D1入力	14ピン、2列、1.27mmピッチ 入力信号D1 Y入力 1.0V（p-p）（75Ω） C_B入力 0.7V（p-p）（75Ω） C_R入力 0.7V（p-p）（75Ω）
音声入力	2.0V(rms) 100kΩ、ピンジャック×1
ヘッドホーン端子	ステレオミニジャック（ø3.5mm）×2
アンテナ（VHF/UHF）端子	VHF/UHF：75Ω F型コネクター

[液晶画面部]

画面サイズ	15V型 幅30.4×高さ22.8cm（対角38.0cm）
表示方式	透過型TN形カラー
駆動方式	アモルファスシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	横1024×縦768ピクセル（有効画素率99.99%以上）

[付属品]

ワイヤレスリモコン 1個
単三乾電池（R6）........ 2個
ACアダプター（ADP-60RH AC）........ 1個
電源コード 1本
取扱説明書 1冊

・意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
・本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
・本取扱説明書で説明しているイラスト、画面表示などは、例として表示してあります。
・本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品について

- 当社は、DVDプレーヤー内蔵液晶テレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～持ち込み修理

76～77ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品名	DVDプレーヤー内蔵液晶テレビ	
形名	SD-P5000	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お名前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	☎(　　)　　—

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品の代金です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トーシバ ヨイ）
電話受付：365日・24時間受付

新製品などの商品選びのご相談

『東芝DVDインフォメーションセンター』

フリーボイス **0120-96-3755**
携帯電話からのご利用は 0570-00-3755
(PHSなど一部の電話ではご利用になれません)
月～土 10：00～20：00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)
日曜日・祝日 10：00～16：00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)

※フリーダイヤルまたはフリーボイスは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 **東芝**
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。